

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	地協工-6

工事名 広見東地区センター外部改修工事

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 市民文化部 地域協働課

当初 設計書

工事番号	地協工-6	工事箇所	可児市 瀬田 地内	施設名	広見東地区センター	
工事名	広見東地区センター外部改修工事					
理 由			工 事 概 要			
当該建物は平成10年に建設されており、長寿命化基本計画及び可児市公共施設個別施設計画に基づき、防水及び外壁塗装は更新の時期であり、また外壁タイル部分は調査の結果、劣化、浮き及びひび割れが確認され、改修工事を行う必要があるため。			広見東地区センター 構造・階数：鉄骨コンクリート造（一部鉄骨造）・平屋建て 建築改修工事（防水改修工事、屋根改修工事、外壁改修工事、塗装改修工事）			
金 額		円		内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書						
1. 一般事項 (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。 (2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。 (3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。 2. 建設副産物有効利用及び適正処理について (1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。 (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。 3. 使用材料 (1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート（24N/mm²以上）については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート（21N/mm²以下）については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。 4. 工事施工について (1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。 (2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。 5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。 6. ワンデーレスポンスの取組について (1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 (2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。 (3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。						

(4 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

10. 可児市公共基準点の保全について

公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点標を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう充分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。

11. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について

工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。

また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。

13. 統一の一斉休工の取組について

(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。

なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。

(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。

（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く）

14. その他

・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築・電気設備・機械設備工事編）最新版

・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築・電気設備・機械設備工事編）最新版

・工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

・既存軒樋、堅樋ルーフドレン廻りについても調査を行い、不具合がある場合は、協議すること。

・外壁調査は一級建築士、外壁打診調査士又はそれと同等の資格を有する者が行い、調査報告書は下記の項目を反映して2部提出すること。

1. 表紙

2. 調査対象

物件名

調査対象範囲

調査実施日

調査会社、調査担当者名（資格証明含む）

3. 調査概要

調査対象（建物概要：所在地、構造、階数、竣工年月など）

調査範囲（例：外壁全面、バルコニー、庇など）

調査方法（全面打診調査、一部目視調査併用など）

調査体制（調査員数など）

使用機材

天候条件（調査日の天候、気温など）

4. 調査結果

異常部位の分布状況：異常が確認された箇所の全体的な分布状況を図示（立面図に色分け表示など）

異常部位の詳細：異常の種類（浮き、剥離、ひび割れ、欠損、汚れ、変色、その他）

発生箇所（具体的な部位、高さ、方位などを図面や写真と対応させて明示）

数量（異常が確認された箇所の数や面積）

写真（異常箇所の状況を示す近景・遠景写真、必要に応じてスケール入り）

集計表：異常の種類別、程度別、部位別の集計結果を一覧表示

5. 総合評価

調査結果全体の総括

具体的な補修工法の提案（例：部分補修、シーリング打ち替え、全面改修など）

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書 (条件明示)

工事名 広見東地区センター外部改修工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	☐ 1. 関連する別途発注工事あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 2. 他機関協議による工程条件あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 期間 (~)
	☐ 3. 他機関との協議状況	☐ A. 協議済機関及び内容 () ☐ B. 未協議機関及び内容 ()
	☐ 4. 占用許可状況 ()	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 5. 建築確認	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 6. 河川区域、保全区域内作業あり	☐ A. 許可済 ☐ B. 申請中
	☐ 7. 文化財協議 (文化財課)	☐ A. 協議済内容 () ☐ B. 未協議内容 ()
	☒ 8. 施工時期	☒ A. 施工時期 (施設利用状況等の確認の上決定すること)
	☐ 9. その他	☐ A. その他 ()
用 地	☐ 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐ A. 区間 (No. ~ No.) ☐ B. 着工見込時期 () ☐ C. 内容 ()
	☐ 2. 工事用地の未買収	☐ A. 場所 () ☐ B. 処理の見込み時期 () ☐ C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	☒ 3. 仮設ヤードの有無	☐ A. 官有地 ☐ B. 民有地 ☐ C. その他 () ☒ D. 別途協議
	☐ 4. その他	☐ A. その他 ()
公 害 対 策	☐ 1. 施工方法の制限あり	☐ A. 騒音 () ☐ B. 振動 () ☐ C. 水質 () ☐ D. その他 ()
	☐ 2. 事業損失防止に関する調査あり	☐ A. 調査の項目 ()
	☐ 3. 環境影響調査あり	☐ A. 生物・植物調査あり
	☐ 4. 土壌汚染対策法に関する届出	☐ A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	☒ 5. 石綿含有に関する事前調査	☐ A. 発注者による含有調査 (契約後貸与 (特記仕様書-4 より)) ☒ B. 受注者による含有調査 ☐ C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	☐ 6. その他	☐ A. フロン回収あり ☐ B. その他 ()
安 全 対 策	☐ 1. 交通規制あり	☐ A. 全面通行止め ☐ B. 片側通行止め ☐ C. 時間制限あり ()
	☐ 2. 通学路あり	☐ A. 迂回路あり ☐ B. 仮設歩道必要
	☐ 3. 交通整理員	☐ A. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 ☐ B. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 ☐ C. 区間 (No. ~) 配置人員 人/日 ☐ D. 交替要員あり
	☐ 4. 鉄道等の近接作業制限あり	☐ A. 工法制限あり () ☐ B. 作業時間制限あり ()
	☐ 5. バス路線 (運行者との協議)	☐ A. 協議済内容 (足場設置に伴う、バス停の位置変更 ☐ B. 未協議内容 ()
	☐ 6. その他	☐ A. その他 ()
工 事 用 道 路	☐ 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	☐ A. 搬入経路指定あり ☐ B. 時間帯制限あり
	☐ 2. 仮設道路の設置条件あり	☐ A. 一般交通供用あり ☐ B. 安全施設必要 () ☐ C. 路面工 () ☐ D. 工事完了後存続又は撤去 () ☐ E. 構造 () ☐ F. 用地 (借地) ☐ G. 用地 (公用地) ☐ H. 用地 (その他)
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()
指 定 仮 設 備	☐ 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	☐ A. 工種 ()
	☐ 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	☐ A. 工種 () ☐ B. 内容 ()
	☐ 3. その他	☐ A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物係	☐ 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	☐ A. 運搬距離（ km ） ☐ B. 投棄料計上あり ☐ C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 ☐ D. 整地（押土）必要
	☐ 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	☐ A. 盛土、埋戻 ☐ B. スtockヤード利用あり（ ） ☐ C. 仮置場必要（ ） ☐ D. 運搬距離（ km ） ☐ E. 仮置場の用地借上費計上あり
	☐ 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	☐ A. 場所（ ） ☐ B. 盛土、埋戻 ☐ C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり ☐ D. スtockヤード利用あり（ ） ☐ E. 仮置場必要（ ） ☐ F. 運搬距離（ km ） ☐ G. 仮置場の用地借上費計上あり ☐ H. 処分料計上あり
	☐ 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	☐ A. 他工事名（ ） ☐ B. 請負者運搬あり（運搬距離 km ） ☐ C. 盛土、埋め戻し ☐ D. スtockヤード利用あり（ ） ☐ E. 仮置場必要（ ） ☐ F. 仮置場の用地借上費計上あり
	☐ 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	☐ A. 種類（ ） ☐ B. 場所（ ） ☐ C. 中間処理施設までの運搬距離（ km ） ☐ D. 処理費計上あり
	☐ 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐ A. 槽内洗浄必要 ☐ B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	☒ 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	☒ A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） ☐ B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 ☒ C. コブリス ☒ D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	☐ 1. 占用支障物件あり（電気）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 2. 占用支障物件あり（電話）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 3. 占用支障物件あり（水道）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 4. 占用支障物件あり（下水道）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 5. 占用支障物件あり（ガス）	☐ A. 移設時期（R 年 月頃） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	☐ A. 管理者による高さ調整（ ） ☐ B. 請負者による高さ調整（ ）
	☐ 7. 占用支障物件あり（その他）	☐ A. 移設時期（ ） ☐ B. 移設時期（別途協議）
	☐ 8. その他	☐ A. その他（ ）
排水工関係	☐ 1. 濁水、湧水処理条件あり	☐ A. 方法（ ）
	☐ 2. その他	☐ A. その他（ ）
再生材使用	☐ 1. 再生材使用指定あり	☐ A. RC ☐ B. アスファルト再生合材（30%再生） ☐ C. アスファルト再生合材（100%再生） ☐ D. 再生材を使用できない場合別途協議 ☐ E.
	☐ 2. その他	☐ A. その他（ ）
その他	☐ 1. 現場発生材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 納入場所（ ）
	☐ 2. 支給材あり	☐ A. 品名（ ） ☐ B. 引渡し場所（ ）
	☐ 3. 現場環境改善	☐ A. 仮設費（ ） ☐ B. 安全費（ ） ☐ C. 営繕費（ ） ☐ D. 地域連携（ ）
	☐ 4. 「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐ A. 品質証明員の配置あり
	☐ 5. 部分使用	☐ A. 範囲（ ） ☐ B. 時期（ ）
	☐ 6. その他	☐ A. その他（ ）

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	広見東地区センター外部改修工事						
A	建築工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			10%
	総 合 計						

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事						
A-1	直接仮設工事		1.0	式			
A-2	防水改修工事		1.0	式			
A-3	屋根改修工事		1.0	式			
A-4	外壁改修工事		1.0	式			
A-5	塗装改修工事		1.0	式			
A-6	内装改修工事		1.0	式			
A-7	その他改修		1.0	式			
A-8	発生材積込み・運搬費・処分費		1.0	式			
	合 計						

[illegible]

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-2	防水改修工事						
	[中庭庇・梁型]						
	水洗い清掃		11.1	m ²			
	ウレタンゴム塗膜防水 (X-2)	梁・底上端 糸巾350～600	11.1	m ²			
	[建具シーリング関係]						
	シーリング打替え (撤去)		394.0	m			
	シーリング打替え (新設) MS-2 15×10		394.0	m			
	[外壁誘発目地シーリング関係]						
	シーリング打替え (撤去)	外壁誘発目地	197.7	m			
	シーリング打替え (新設) MS-2 15×10	外壁誘発目地	197.7	m			
	[エントランスパネル目地シーリング関係]						
	シーリング打替え (撤去)	ホーローパネル	65.0	m			
	シーリング打替え (新設) MS-2 15×10	ホーローパネル	65.0	m			
	シーリング打替え (撤去)	ステンレスカバー	3.1	m			
	シーリング打替え (新設) MS-2 15×10	ステンレスカバー	3.1	m			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-4	外壁改修工事						
	外壁劣化部調査		770.0	m ²			
	[外壁タイル面補修]	せっき質二丁掛タイル面					
	一般部 ・ 注入口付アンカービ [°] ンニング [°] 部分 [°] キ [°] 樹脂注入工法(16本/m ²)		35.3	m ²			
	狭隘部 ・ 注入口付アンカービ [°] ンニング [°] 部分 [°] キ [°] 樹脂注入工法(5本/m)		12.2	m			
	欠損 ・ ひび割れ ・ 陶片浮き ・ 汚損張替工法 せっき質二丁掛タイル張り		25.6	m ²			
	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	3.2	m			
	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 自動式低圧 [°] キ [°] 樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	27.1	m			
	[外壁コンクリート面補修]						
	ひび割れ補修Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	5.8	m			
	ひび割れ補修自動式低圧 [°] キ [°] 樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	27.6	m			
	ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm以下	4.2	m			
	外壁 欠損 ・ 爆裂面等補修 [°] キ [°] 樹脂モルタル充填工法(100×100程度)		1.0	箇所			
	外壁 欠損 ・ 爆裂面等補修 [°] キ [°] 樹脂モルタル充填工法(50×50程度)		1.0	箇所			
	外壁タイル面水洗い工法15MPa程度(調整)		312.0	m ²			
	外壁タイル面クリーニング 工業用塩酸使用		312.0	m ²			
	カッター入れ	外壁タイル撤去部	72.8	m			
	外壁タイル撤去	せっき質二丁掛タイル 下地モルタル共	25.6	m ²			

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	コンクリート打放外装薄塗材E面 水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	460.0	m ²			
	外装薄塗材E 下地調整RB種共		460.0	m ²			
	[軒天（打放し部分）]						
	外壁劣化部調査	打放し面	241.0	m ²			
	[軒天打放し面補修]						
	ひび割れ補修Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	1.0	m			
	ひび割れ補修自動式低圧ポウチ樹脂 注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	1.0	m			
	ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm未満	1.0	m			
	打放し面水洗い工法	15MPa程度ブラシ併用	241.0	m ²			
	外装薄塗材E 下地調整RB種共		241.0	m ²			
	[中庭庇・梁型関連]						
	庇・梁型面劣化調査	上端モルタル面	11.1	m ²			
	庇・梁型面劣化調査	上裏・側面打放し面	16.1	m ²			
	[モルタル面補修]	上端モルタル面					
	(狭幅部) 注入口付アンカーヒンキング 部分ポウチ樹脂注入工法(5本/m)		0.5	m			
	ひび割れ補修Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	1.0	m			
	ひび割れ補修自動式低圧ポウチ樹脂 注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	1.0	m			
	ひび割れ補修シール工法	幅0.2mm以下	1.0	m			

[illegible]

[illegible]

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-7	その他改修工事						
	アルミガラリ防虫網取替	AG2 W500×H700	2.0	箇所			
	アルミガラリ防虫網取替	AG5 400φ	8.0	箇所			
	エントランス トップライトガラス内側ビード外れ箇所補修	1m程度 材既存使用 シール押さえ共	1.0	箇所			
	風除室 梁上端合板増し張り	耐水合板t12 L2300 W200	1.0	箇所			
	エントランスホーローパネル面全面水洗い清掃		36.9	m ²			
	エントランスステンレスカバー面全面水洗い清掃		1.6	m ²			
	花壇側壁タイル面劣化部調査	磁器質小口タイル貼面 上端共	31.9	m ²			
	[花壇側壁タイル面補修]						
	部分エポキシ樹脂注入工法(16本/m ²)		0.2	m ²			
	狭隘部・注入口付アンカーベソニック部分エポキシ樹脂注入工法(5本/m)		1.0	m			
	欠損・ひび割れ・陶片浮き・汚損張替工法 せっき質二丁掛タイル張り		0.6	m ²			
	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 Uカットシール材充填工法	幅1.0mm超	1.0	m			
	タイル下コンクリート躯体面ひび割れ補修 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	幅0.2mm以上～1.0mm以下	1.4	m			
	外壁タイル面水洗い工法15MPa程度(調整)		31.9	m ²			
	外壁タイル面クリーニング 工業用塩酸使用		31.9	m ²			
	カッター入れ	外壁タイル撤去部	6.0	m			
	外壁タイル撤去	せっき質二丁掛タイル 下地モルタル共	0.6	m ²			
	樹脂モルタル舗装 t=8		119.0	m ²			

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A-8	発生材積込み・運搬費・処分費						
	発生材積込み	廃プラスチック	0.13	m ³			
	発生材積込み	ガラス・陶磁器類	0.99	m ³			
	発生材積込み	天然石小粒砂利	0.95	m ³			
	発生材運搬費	廃プラスチック	0.13	m ³			
	発生材運搬費	ガラス・陶磁器類	0.99	m ³			
	発生材運搬費	天然石小粒砂利	0.95	m ³			
	発生材処分	廃プラスチック	0.13	m ³			
	発生材処分	ガラス・陶磁器類	0.99	m ³			
	発生材処分	天然石小粒砂利	0.95	m ³			
	小計						
	改め計						

名 称		摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ	共通仮設費						
	仮囲い 波形鉄板塀H1800	H1800	32.7	m			
	キャスターゲート	W3000 H1800	2.0	箇所			
	交通整理員		1.0	式			
	仮設資材等荷揚げ・取り卸し	ラフタークレーン	2.0	日			
	小計						
	改め計						

広見東地区センター外部改修工事

図 面 目 録					
番号	図 面 名 称	縮 尺	番号	図 面 名 称	縮 尺
01	建築工事特記仕様書（１）	—	13	部分断面詳細図（１）	1/50
02	建築工事特記仕様書（２）	—	14	部分断面詳細図（２）・詳細図	1/50・1/20
03	建築工事特記仕様書（３）	—	15	矩計図（エントランス）	1/50
04	建築工事特記仕様書（４）	—	16	中庭廻り外壁展開図	1/100
05	案内図・配置図	1/300	17	天井伏図	1/200
06	改修フローチャート・改修リスト	—	18	建具キープラン	1/300
07	改修フロー図-1	—	19	外部建具表（１）	1/100
08	改修フロー図-2	—	20	外部建具表（２）	1/100
09	1階平面図	1/200	21	仮設計画図	1/400
10	R階平面図	1/200	22	劣化調査図（１）	1/100
11	立面図（１）	1/200	23	劣化調査図（２）	1/100
12	立面図（２）	1/200	24	劣化調査図（３）	1/100

株式会社 三宅設計

[illegible]

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																											
1 共通事項	32 下請施工業務	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。	2 仮設工事	2）仮設間仕切りの種別と材質等	<table><tr><th>種 別</th><th>仕 上 げ（厚さmm）</th><th>塗 装</th><th>充 填</th></tr><tr><td>・A種</td><td>・せっこうボード（9.5mm） 種類（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td><td>・片面 ・なし</td><td>グラスウール 厚さ（ ）mm</td></tr><tr><td>・B種</td><td>・合板（9.0mm） 材種（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>防炎シート</td><td></td><td></td></tr></table>	種 別	仕 上 げ（厚さmm）	塗 装	充 填	・A種	・せっこうボード（9.5mm） 種類（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	・片面 ・なし	グラスウール 厚さ（ ）mm	・B種	・合板（9.0mm） 材種（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材			・C種	防炎シート			3 防水改修工事	屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・	3 防水改修工事	屋内防水	<table><tr><th colspan="4">保護層</th></tr><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>平場のモルタル塗り</th><th>立上り部の</th></tr><tr><td>・S-C1</td><td>図示</td><td>・塗り厚さ ・工法</td><td>保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・</td></tr></table>	保護層				種別	施工箇所	平場のモルタル塗り	立上り部の	・S-C1	図示	・塗り厚さ ・工法	保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・
	種 別	仕 上 げ（厚さmm）		塗 装	充 填																																	
	・A種	・せっこうボード（9.5mm） 種類（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材		・片面 ・なし	グラスウール 厚さ（ ）mm																																	
	・B種	・合板（9.0mm） 材種（ ） 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材																																				
	・C種	防炎シート																																				
保護層																																						
種別	施工箇所	平場のモルタル塗り	立上り部の																																			
・S-C1	図示	・塗り厚さ ・工法	保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・																																			
34 下請け業者等	下請け業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。	3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等	<table><tr><th>材 質</th><th>仕 上 げ</th><th>塗 装</th><th>設置箇所</th></tr><tr><td>※木製 ・</td><td>※合板張り程度 ・</td><td>・なし ・片面</td><td>・図示</td></tr></table>	材 質	仕 上 げ	塗 装	設置箇所	※木製 ・	※合板張り程度 ・	・なし ・片面	・図示	・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・） 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 屋根排水溝 ・図示 ・	床塗りの場合の床の目地 目地割り（※2㎡程度 最大目地間隔3㎡程度 ・） 目地の種類（※押し目地 ・）																									
材 質	仕 上 げ	塗 装	設置箇所																																			
※木製 ・	※合板張り程度 ・	・なし ・片面	・図示																																			
36 ワンデーレスポンス	1）本工事はワンデーレスポンス実施対象工事とする。 「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答を、原則「その日のうち」に回答する仕組みである。 2）受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は適宜監督員に報告する。	⑤ 監督職員事務所	（2.4.1）	5 改質7ｽﾌﾟﾙﾄｰﾄﾞ防水	（3.1.4）（3.4.2～4）																																	
37 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。	⑥ 工事用水	・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模（㎡2程度） ・10 ・20 ※35 ・65 ・100	（3.1.4）（3.2～5）（表3.1.1）（表3.3.10）	脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 個																																	
38 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1）原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2）墜落制止用器具は一連の作業において縦綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1）安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2）当該工事内容等の周知徹底 3）工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4）当該工事における災害対策訓練 5）その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html	⑦ 工事電力	・構内既存の施設 ※利用できる（※有償 ・無償） ・利用できない	（3.1.4）（3.4.2～4）	接着工法の目地処理 プレキャストコンクリート下地（ ・） ・行う（・図示 ・） ・行わない																																	
39 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を照査し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事着手協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。	8 確認済の表示	建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する	（3.1.4）（3.4.2～4）	入隅部の増張り プレキャストコンクリート部材（種別S-F1、S1-F1の場合） ・行う（・図示 ・） ・行わない																																	
40 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。	9 イメージアップ	工事概要及びイメージバースを印刷した看板を 箇所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。	（3.1.4）（3.4.2～4）	機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法																																	
41 用語の読み替え	「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法（平成16年6月9日公布 法律第95号）」、「工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布 法律95号）」、「改正工業標準化法（平成16年6月）をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。	⑧ 一般事項	防水工事は、専門業者の責任施工とする。 受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。 なお、防水の保証年限は、10年とする。	（3.2.3～6）	（3.1.4）（3.6.2～4）																																	
42 その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1）ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。	2 既存防水の処理	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X ）	（3.2.3～6）	（3.1.4）（3.6.2～4）																																	
2 仮設工事	1 騒音・粉じん等対策	3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示	（3.2.6）	（3.1.4）（3.6.2～4）																																	
	2 足場等	4 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別	（表3.1.1）（表3.3.1～6）	（3.1.4）（3.6.2～4）																																	
	3 既存部分の養生		<table><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁用シート</th><th>立上り部の保護</th></tr><tr><td>・P2A</td><td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td><td rowspan="3">図 示</td><td rowspan="3">（種類） JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A（スキャン層付き） ・25 ・50 ・</td><td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・</td><td>※乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え</td></tr><tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td><td>※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・</td><td></td></tr><tr><td>・P2AI</td><td>・A-1-1 ・A-1-2 ・A-1-3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・P1BI</td><td>・B-1-1 ※B-1-2 ・B-1-3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工 法	種 別	施 工 箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図 示	（種類） JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A（スキャン層付き） ・25 ・50 ・	※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・	※乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え	・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・		・P2AI	・A-1-1 ・A-1-2 ・A-1-3			・P1BI	・B-1-1 ※B-1-2 ・B-1-3					・乾式保護材 ・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様） 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm ・窯業系パネルⅡ類（一般地仕様） 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm ・窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの ・金属複合板 厚さ（ ）mm 幅（ ）mm 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの	（3.1.4）（3.3.2～5）							
工 法	種 別	施 工 箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																	
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図 示	（種類） JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A（スキャン層付き） ・25 ・50 ・	※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上 ・	※乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え																																	
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3			※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・																																		
・P2AI	・A-1-1 ・A-1-2 ・A-1-3																																					
・P1BI	・B-1-1 ※B-1-2 ・B-1-3																																					
	4 仮設間仕切		屋根露出防水 防水層の種別	（表3.1.1）（表3.3.7～9）	（3.1.4）（3.3.2～5）																																	
			<table><tr><th rowspan="2">工 法</th><th rowspan="2">種 別</th><th rowspan="2">施 工 箇所</th><th rowspan="2">断熱材</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・M4C</td><td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td><td rowspan="3">図 示</td><td rowspan="3"></td><td>・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td><td>※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td><td>・有 ※無</td><td></td></tr><tr><td>・M3D</td><td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ○D-4</td><td>・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td><td>※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td><td>・有 ※無</td><td>脱気装置 ○設ける ・設けない 改修用ドレン ○設ける ・設けない</td></tr><tr><td>・M3DI</td><td>・D1-1 ※D1-2 ・M4DI</td><td>改修標準仕様書3.3.2(9)（種類） ・ （厚さmm） ・25 ・50 ・</td><td>・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td><td>※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による</td><td>・有 ※無</td><td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr></table>	工 法	種 別	施 工 箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考	種類	使用量	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図 示		・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無		・M3D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ○D-4	・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ○設ける ・設けない 改修用ドレン ○設ける ・設けない	・M3DI	・D1-1 ※D1-2 ・M4DI	改修標準仕様書3.3.2(9)（種類） ・ （厚さmm） ・25 ・50 ・	・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング製の製造所の指定 ・ 設置数量 ・ 個	（3.1.4）（3.3.2～5）		
工 法	種 別	施 工 箇所	断熱材					仕上塗料				高日射反射率防水の適用	備考																									
				種類	使用量																																	
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図 示		・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無																																
・M3D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ○D-4			・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ○設ける ・設けない 改修用ドレン ○設ける ・設けない																															
・M3DI	・D1-1 ※D1-2 ・M4DI			改修標準仕様書3.3.2(9)（種類） ・ （厚さmm） ・25 ・50 ・	・アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング製の製造所の仕様による	・有 ※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																														
備考																																						
			株式会社 三宅設計			承認			設計																													
			TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432			1級建築士 三宅 晶 信 第68278号			設計年月日																													
									N0.																													
									工事名 広見東地区センター外部改修工事																													
									図面名 建築工事特記仕様書（2）																													
									02																													

3	防水改修工事	10 アルミニウム製笠木	(表3.9.1)(3.9.2、3) 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅()mm 板厚(※2.0mm ・ mm) 表面処理 種別 ・A B－1種 ※B B－1種 ・B B－2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ 既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法	4-2 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	① ひび割れ部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5) ○樹脂注入工法 <table><tr><th>種 類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>200～300</td><td>・120 ・ ・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>50～100</td><td>・40 ・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>100～200</td><td>・70 ・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>150～250</td><td>・130 ・</td></tr></table> エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・ ○Uカットシール材充填工法 (4.4.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 (4.4.7) ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	200～300	・120 ・ ・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	50～100	・40 ・	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	100～200	・70 ・	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	150～250	・130 ・	4-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	③ 浮き部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.5.4)(4.5.9～15) <table><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m2)</th><th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m2)</th><th rowspan="2">注入量(ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr><tr><td>○アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16 ・</td><td>※25 ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13 ・</td><td>※20 ・</td><td>※12 ・</td><td>※20 ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13 ・</td><td>※20 ・</td><td>※12 ・</td><td>※20 ・</td><td>※50 ・</td></tr><tr><td>※注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16 ・</td><td>※16 ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※50 ・</td></tr><tr><td>※注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法</td><td>※16 ・</td><td>※16 ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>※25 ・</td></tr></table> 狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本／㎡とする	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	— ・	— ・	※25 ・	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・	※注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	— ・	— ・	※25 ・	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・	※注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16 ・	※16 ・	— ・	— ・	※25 ・
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	200～300	・120 ・ ・																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	50～100	・40 ・																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	100～200	・70 ・																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	150～250	・130 ・																																																																														
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																													
○アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	— ・	— ・	※25 ・																																																																												
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・																																																																												
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・																																																																												
※注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	— ・	— ・	※25 ・																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・																																																																												
※注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※16 ・	※16 ・	— ・	— ・	※25 ・																																																																												
11 長尺金属板葺	[13.2.2、3][表13.2.1～3] <table><tr><th>施工箇所</th><th>板及びコイルの種類</th><th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th><th>厚さ(mm)</th><th>屋根蓋形式</th></tr><tr><td></td><td>※JIS G 3322の屋根用コイル ・</td><td></td><td></td><td>・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺</td></tr></table> 下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する(施工箇所 ・図示 ・)	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根蓋形式		※JIS G 3322の屋根用コイル ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺	② 欠損部改修工法	③ 浮き部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.4)(4.4.9)(表4.4.1、2) ○充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調査材料 ・既調査材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示																																																																			
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根蓋形式																																																																													
	※JIS G 3322の屋根用コイル ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																																																																													
11 折板葺	[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1] <table><tr><th>施工箇所</th><th>形 式</th><th>山高、山ピッチによる区分 山高 山ピッチ</th><th>耐力による区分</th><th>材料による区分</th><th>厚さ(mm)</th><th>軒先面戸板</th><th>耐火性能</th></tr><tr><td></td><td>・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td><td></td><td>()種 ※鋼板製 ・アルミニウム合金板製</td><td>・有リ ・無し</td><td></td><td>・有リ ・無し</td><td>・30分 ・無し</td></tr></table> 材料 板及びコイルの種類() 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号() タイトフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による ・E種 ・F種 断熱材 ・有リ(種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 折板のけらは納め ※けらは包みによる方法 ・	施工箇所	形 式	山高、山ピッチによる区分 山高 山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形		()種 ※鋼板製 ・アルミニウム合金板製	・有リ ・無し		・有リ ・無し	・30分 ・無し	③ 浮き部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.4)(4.4.10～15) <table><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m2)</th><th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m2)</th><th rowspan="2">注入量(ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr><tr><td>○アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16 ・</td><td>※25 ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13 ・</td><td>※20 ・</td><td>※12 ・</td><td>※20 ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13 ・</td><td>※20 ・</td><td>※12 ・</td><td>※20 ・</td><td>※50 ・</td></tr><tr><td>※注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16 ・</td><td>※16 ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※25 ・</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※9 ・</td><td>※16 ・</td><td>※50 ・</td></tr><tr><td>・充填工法</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td></tr><tr><td>・モルタル塗替え工法</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td><td>— ・</td></tr></table> 狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本／㎡とする	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	— ・	— ・	※25 ・	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・	※注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	— ・	— ・	※25 ・	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・	・充填工法	— ・	— ・	— ・	— ・	— ・	・モルタル塗替え工法	— ・	— ・	— ・	— ・	— ・				
施工箇所	形 式	山高、山ピッチによる区分 山高 山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																										
	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形		()種 ※鋼板製 ・アルミニウム合金板製	・有リ ・無し		・有リ ・無し	・30分 ・無し																																																																										
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m2)		注入口の箇所数(箇所/m2)		注入量(ml/箇所)																																																																												
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																													
○アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	— ・	— ・	※25 ・																																																																												
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・																																																																												
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・																																																																												
※注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	— ・	— ・	※25 ・																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・																																																																												
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・																																																																												
・充填工法	— ・	— ・	— ・	— ・	— ・																																																																												
・モルタル塗替え工法	— ・	— ・	— ・	— ・	— ・																																																																												
4 外壁改修(共通事項)	① 可とう性エポキシ樹脂	(品質、試験方法) (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による	4-2 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	② 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4) ○樹脂注入工法 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0 以下</td><td>※ 200～300</td><td>・120 ・ ・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3 未満</td><td>・ 50～100</td><td>・40 ・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5 未満</td><td>・ 100～200</td><td>・70 ・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0 以下</td><td>・ 150～250</td><td>・130 ・</td></tr></table> エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・ ○Uカットシール材充填工法 (4.3.5) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 (4.3.6) ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300	・120 ・ ・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100	・40 ・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200	・70 ・	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250	・130 ・	4-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	⑤ タイルの形状、寸法等	④ 目地改修工法																																																					
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300	・120 ・ ・																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100	・40 ・																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200	・70 ・																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250	・130 ・																																																																														
② パテ状エポキシ樹脂	(品質、試験方法) (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による	② 欠損部改修工法																																																																															
③ エポキシ樹脂モルタル	(品質、試験方法) (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による	③ 浮き部改修工法																																																																															
④ シーリング材	(品質、試験方法) (4.2.2) 建築用シーリング材(JIS A 5758)による	③ 浮き部改修工法																																																																															
⑤ ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による	③ 浮き部改修工法																																																																															
6 ポリマーセメントスラリー	(品質・試験方法) (4.2.2) 試験方法・品質基準(独立行政法人 都市再生機構)による	③ 浮き部改修工法																																																																															
7 既調合モルタル	(品質・性能) (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による	③ 浮き部改修工法																																																																															
4-1 外壁改修(コンクリート打放し仕上げ外壁改修)	① ひび割れ部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4) ○樹脂注入工法 <table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入口間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0 以下</td><td>※ 200～300</td><td>・120 ・ ・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3 未満</td><td>・ 50～100</td><td>・40 ・</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5 未満</td><td>・ 100～200</td><td>・70 ・</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0 以下</td><td>・ 150～250</td><td>・130 ・</td></tr></table> エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・ ○Uカットシール材充填工法 (4.3.5) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂 (4.3.6) ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300	・120 ・ ・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100	・40 ・	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200	・70 ・	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250	・130 ・	⑤ タイルの形状、寸法等																																																										
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300	・120 ・ ・																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100	・40 ・																																																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200	・70 ・																																																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	・ 150～250	・130 ・																																																																														
② 欠損部改修工法	(4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7) ○充填工法 (4.3.7) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・	③ 浮き部改修工法																																																																															
備 考			株式会社 三宅設計		承認	設計	設計年月日	N0.	工事名 広見東地区センター外部改修工事																																																																								
			TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号					03	図面名 建築工事特記仕様書(3)																																																																								

7

塗装改修工事

④ 塗装

(7. 4. 2～7. 14. 2) (表7. 2. 1～7. 14. 1)

塗装の種類	塗装面	工 程
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種 ・ ※A種 ・
	木部屋内	※B種 ・ ※B種 ・
鉄鋼面		※B種 ・ ※B種 ・ A種
塗料の種類	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・ ※B種 ・
※ 1種 ・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・ ※B種 ・
・クリヤラッカー塗り (GL)		※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		— —
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (1) 級	・ A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 () 級	・ A種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A－1種 ・ B－1種 ・ C－1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント (EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・ ・ A種 ・ B種
	屋内の木部	※B種 ・ ※A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ ・ A種 ・ B種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種 ・ ・ A種 ・ B種
○合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		※B種 ・ ・ A種 ・ B種
・合成樹脂エマルション模稜塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ ・ A種 ・ B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種 ※B種 ・ A種
・オイルステイン塗り (OS)		— —
○木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ○A種 ※B種 ・ A種
・アクリル樹脂エマルションペイント塗り (AEP)		※B種 ・

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書 表7. 9. 1の工程 1の下塗りをしき止めシーラーとする

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※改修標準仕様書 表7. 10. 1の工程 1の下塗りをしき止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り [G]
下地調整 (改修標準仕様書 表7. 2. 2) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種

工 程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による

10

その他 (舗装工事)

1 路床

[22. 2. 2、3、5] [表22. 2. 1]

路床の材料

種 別	材 料	厚さ (mm)
・盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	※図示 ・
・凍上抑制層	・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	※図示 ・
・フィルター層	・ 砂 ・	※図示 ・

・路床安定処理
安定処理の方法 ・ 置換え工法 ・ 安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G]
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 () ・ 消石灰 ()
添加量 ・ kg/m3 (目標CBR ・ 3以上)
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/㎡以上 ・
厚さ (mm) ・ 0. 5～1. 0 ・
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・ 1. 5×10⁻⁶ cm/sec以上 ・

試験
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

2 路盤

[22. 2. 2、3、5] [表22. 3. 1]

路盤の厚さ ※図示 ・
路盤材料

種類
砕石 ・ クラッシャーラン
・ 粒度調整砕石
再生材 ・ クラッシャーラン [G]
・ 粒度調整砕石 [G]
・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ [G]
・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・
材料及び種類
アスファルト ・ 再生アスファルト [G] (・ 60～80 ・ 80～100)
・ ストレートアスファルト
骨材 ・ 道路用碎石
・ アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物等の種類
・ 密粒度アスファルト混合物 (13)
・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)
シーลコートの乳剤の種類 ・ PK－1 ・ PK－2
試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

2 2 2 2 3 3 5 5

コンクリート舗装

[22. 5. 2～4、6] [表22. 5. 1、3]

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部 位	構 成	厚さ (mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	※図示	※図示 ・
	歩行者用通路	※図示	※70 ・

寒冷地の縁部立下り寸法等 ※図示
材料
コンクリート
種類 ※普通コンクリート ・
設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法 ※標準仕様書 表22. 5. 1による
早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
目地の種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22. 5. 3及び図22. 5. 1による ・ 図示

⑤ カラー舗装 [22. 6. 2～4]
・ 加熱系カラー舗装
構成 ・ 厚さ ・ 図示
加熱系混合物の結合材
・ アスファルト混合物
・ 石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 着色骨材 () 自然石 ()
○常温系カラー舗装
工法 ○自然石樹脂系ニート工法 ・ 塗布工法
着色部の下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装

6 透水性アスファルト舗装 [22. 7. 2、3、6]
構成 ※図示 ・
材料
骨材 ・ 道路用碎石
・ アスファルトコンクリート再生骨材
試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・

7 ブロック系舗装 [22. 8. 2、3]
・ コンクリート平板舗装 [G]

種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備 考
・ 普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	表面加工
・ 透水性平板 (P)	・	・	・ モルタル	・ 研ぎ出し
・ 保水性平板 (M)	・	・	・	・ 洗い出し ・ たたき出し

クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル
普通平板は [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック) 、透水平板は [G] (透水性コンクリート) とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・
・ インターロッキングブロック舗装 [G]

種 類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm2)	表面加工
・ 普通ブロック (N)	車路	※図示	※80	※5. 0	
・ 透水性ブロック (P)		・	・	・	
・ 保水性ブロック (M)		・	・	・	
・ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	※図示	※60	※3. 0	
・ 透水性ブロック (P)		・	・	・	
・ 保水性ブロック (M)		・	・	・	

クッション材 ※砂 ・ 空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは [G] (再生材料を用いた舗装用ブロック) 、透水性ブロックは (透水性コンクリート) とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。
・ 舗石舗装

種 類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基 層	基層の厚さ (mm)
※小舗石 (花こう岩)	※図示	・	・ うろこ張り	・ コンクリート版	※70
・	・	・	・	・ アスファルト混合物	※50

仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする
・
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/㎡以上 ・
厚さ (mm) ・ 0. 5～1. 0 ・
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・ 1. 5×10⁻⁶ cm/sec以上 ・

8 砂利敷き [22. 9. 2]
種類
・ A種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 通路 ・)
・ B種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 建物周囲その他 ・)

9 路面標示用塗料
路面標示用塗料はJIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)
※3種 1号	溶解	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1. 0
・ 1種 [G]	常温	液状	・	・ 100	・
・ 2種 [G]	加熱				

[G] 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

9

環境配慮改修工事

1 7Aベスト含有建材の除去工事

(9. 1. 1)

施工調査
分析によるアスベスト含有建材の調査 ・ 行う ・ 行わない
分析方法
※JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部」又は、JIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部」による。
・
分析方法結果については監督職員に報告すること。 (箇所あたり3試料)

材 料 名	定性分析 (箇所数)	定量分析 (箇所数)
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・

採取箇所 ※図示 ・
アスベスト粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適 用 名 称	測定時期	測定 場 所	測 定 点 (各施工箇所ごと)
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 () 点
・ 測定 2		調査対象室外部の付近	・ 計 () 点
・ 測定 3		処理作業室内	・ 計 () 点
・ 測定 4	処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 計 () 点
・ 測定 5		処理作業室外 (敷地境界)	・ 計 () 点
・ 測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・ 計 () 点
・ 測定 7	処理作業後シート	処理作業室内	・ 計 () 点
・ 測定 8	撤去後 1 週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 () 点

測定方法

	測定 3	測定 1、2、4、6、7、8	測定 5
ダクト内径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・	・ 5 ・	・ 10 ・
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・	・ 120 ・	・ 240 ・

アスベスト含有建材の除去 (9. 1. 3)
・ アスベスト含有塗装 (下塗セメント系フィラー) の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※ウォータークリーン工法同等による
除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止
※密封処理 ※湿潤化 ・ セメント固化
・ セメント固化 除去したアスベスト含有吹付け材の溶融固化
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場)
・ 中間処分 (溶融施設)
・ アスベスト含有保温材等の除去 (9. 1. 4)
除去対象範囲 ※図示 (図面 () による)
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)
・ アスベスト含有成形板の除去 (9. 1. 5)
除去対象範囲 ※図示 (図面 (A13) による)
除去したアスベスト含有成形板の処分
・ アスベスト含有せっこうボード
※埋立処分 (管理型最終処分場)
・ アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)

2 外断熱改修工事 [G] (9. 5. 2)
断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること。
ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種

断熱材の打込み及び張り付け (9. 5. 2)

保温材の種類	発泡剤の種類	種 類	厚さ (mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・	・	
※射出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・ 保温板 (2種b) ・ 25 ・ ※一般部	・ 25 ・	・ 接地部分
		・ 保温板 (3種b) ・ 25 ・	・	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・	
・ フェノールフォーム保温材	A種	・	・	
・ ロックウール	・	・	・	
・ グラスウール	・	・	・	

3 ガラス改修工事 (9. 4. 2)
複層ガラス

品 類	断熱性	日射熱遮へい性	厚 さ
・ 断熱複層ガラス	・ 1種 U 1	・	・ 図示
	・ 2種 U 2	・	・
	・ 3種 U－3－1 ・ U－3－2	・	・

4 断熱・防露改修工事 [G] (9. 5. 2～3)
断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (9. 5. 2～3)
・ 断熱材打込み工法

保温材の種類	発泡剤の種類	種 類	厚 さ (mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・	・	
※射出法ポリスチレンフォーム保温材	A種	・ 保温板 (2種b) ・ 25 ・ ※一般部	・ 25 ・	・ 接地部分
		・ 保温板 (3種b) ・ 25 ・	・	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	A種	・	・	
・ フェノールフォーム保温材	A種	・	・	

施工箇所 ・ 図示
・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1
厚さ (mm) ・ 25 ・ 30
施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ 図示

5 屋上緑化改修工事 [G]

(9. 6. 1～3)

植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化軽量システム ・ 適用する
・ 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・
(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による
(試験方法) 工事建築材料等品質性能表による

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧の (・1・1. 15・1. 3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
かん水装置 ・ 設置する (※本工事 ・ 別途工事)
既存保層層の撤去 ・ 行う
新植芝及び地被類の枯損償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ (9. 6. 4)

6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9. 7. 3)
適用範囲: 歩行者用道路
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示
路床 (9. 7. 3)
路床の材料 (厚さは図示)
・ 遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂
・ 凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 砂
・ フィルター層 ※砂
・ 盛土
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]
C種の場合
「建設発生土情報交換システム」を活用し、以下の土質の土とする。
発生土利用基準 (国営計第59号平成18年8月10日)
表－3 適用用途標準 (1) ・ 第1種、第2種、第3種 ・
D種の場合
「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領 (案)」により、六価クロム溶出試験を行う。
建設汚泥から再生した処理土の場合
「建設汚泥処理土利用技術基準について (国営計第41号 平成18年6月12日) 表－4 建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。
※第3種処理土 ・
路床安定処理 (9. 7. 3)
・ 行う
※添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号
添加量 () kg/m2 (目標CBR ※5以上)
目標CBR ※5以上 ・
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 60g/m2以上
厚さ (mm) 0. 5～1. 0
引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 1. 5×10⁻⁶ cm/sec以上

試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ※行わない (9. 7. 3)
路床の締固め度試験 ※行う ・ 行わない (9. 7. 3)
砂の粒度試験 ・ 行う ※行わない (9. 7. 3)
路盤材料 ・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ [G] (9. 7. 4)
・ クラッシャーラン 0-40
・ 再生クラッシャーラン [G]
路盤厚さ 車道部 ※図示 ・ 150mm (9. 7. 4)
歩道部 ※図示 ・ 100mm
路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない
舗装材料及び厚さ (9. 7. 5) (9. 7. 6)
車道部 ※ポリマー改質アスファルトⅠ型 厚さ ※図示 ・ 50mm
・
歩道部 ※ストレートアスファルト 厚さ ※図示 ・ 30mm
・
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ※行わない (9. 7. 9)
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの

備考

株式会社 三宅設計

TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432

1級建築士 三宅晶信 第68278号

承認

設計

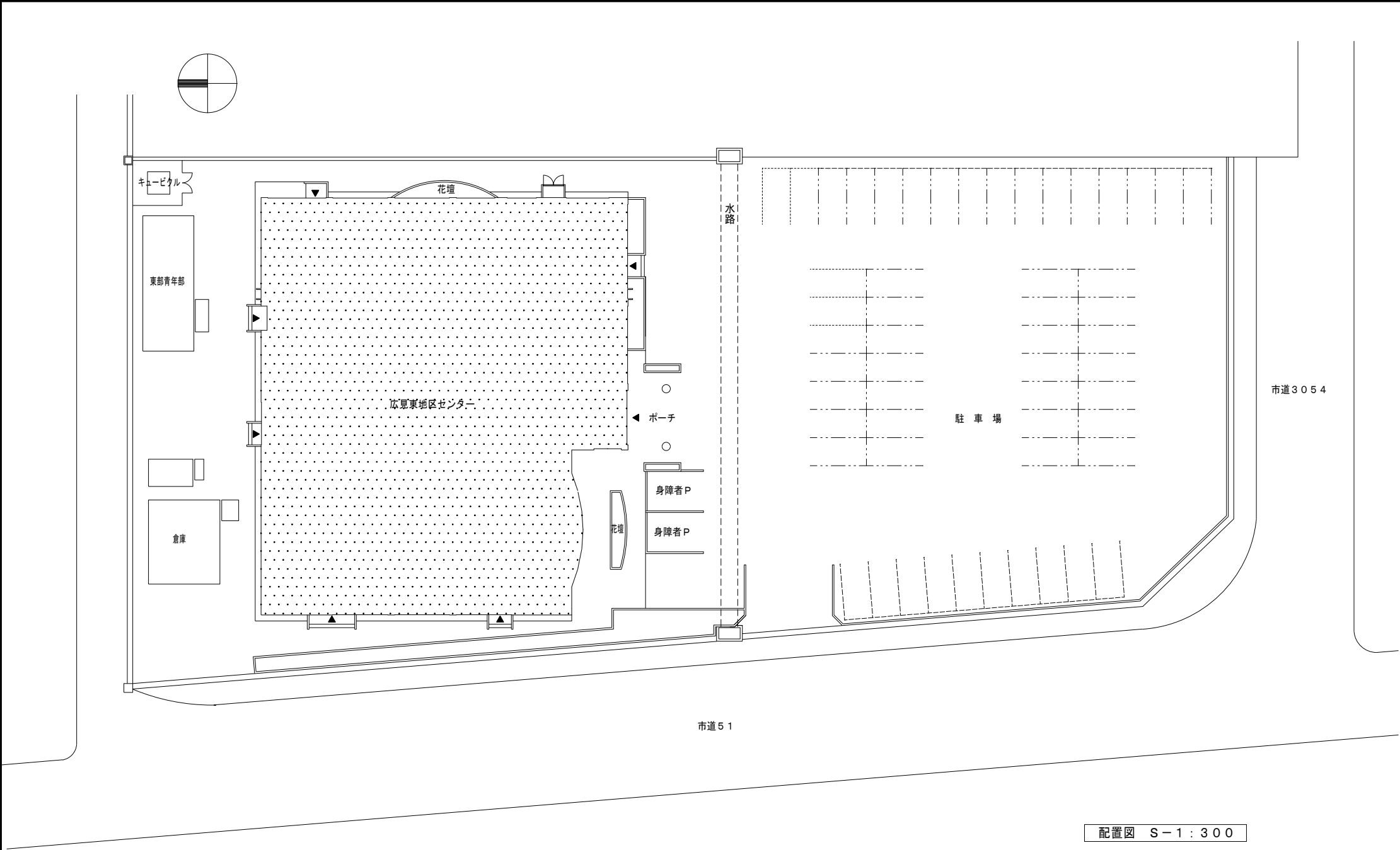
設計年月日

N0.

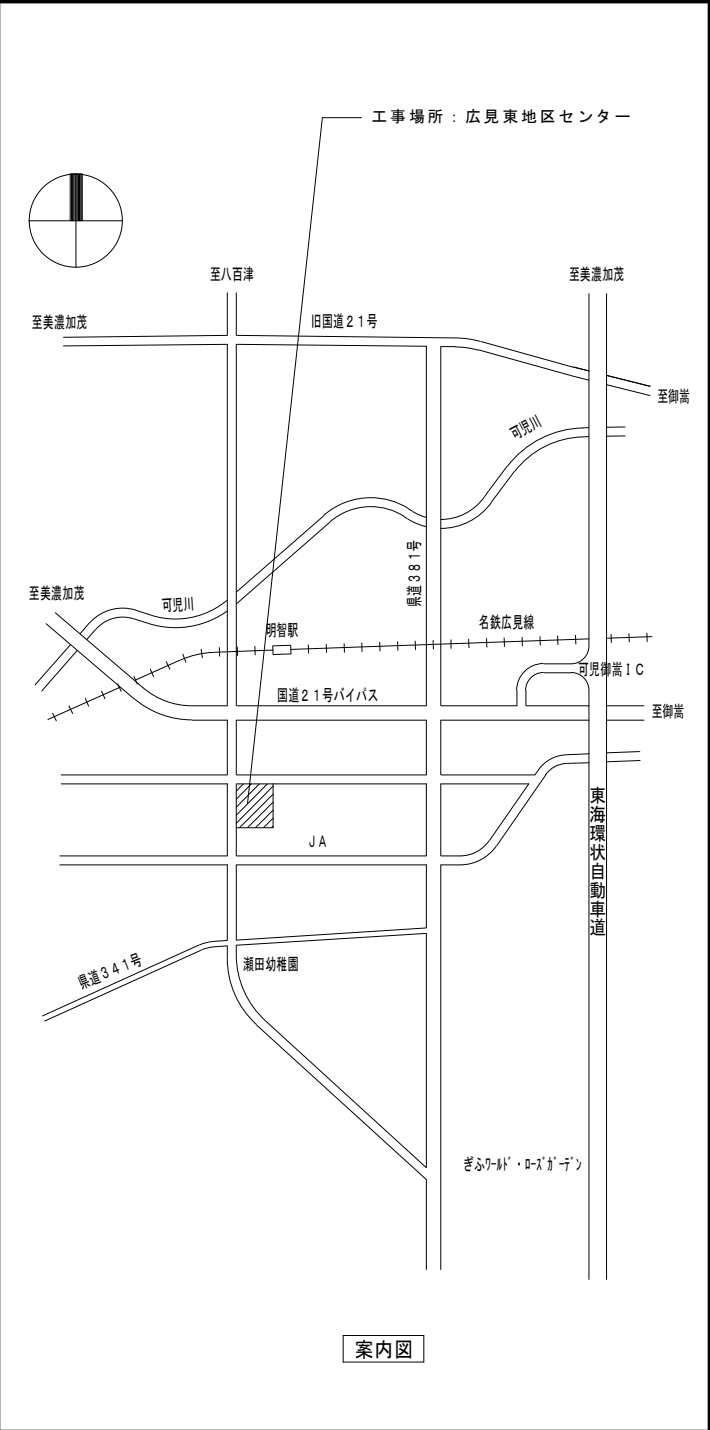
04

工事名 広見東地区センター外部改修工事

図面名 建築工事特記仕様書 (4)



配置図 S-1:300



案内図

改 修 フ ロ ー チ ャ ー ト							
補修場所		フ ロ ー チ ャ ー ト					
外壁ボーダータイル（せっき質小口タイル） 外壁タイル（せっき質二丁掛タイル） 花壇側壁タイル（せっき質二丁掛タイル）		改修工法フロー図－2による					
外壁打放し面 軒天・梁型打放し面 中庭底上部立上り壁面（中庭側）		改修工法フロー図－1による					
中庭）底・梁型上端面		改修工法フロー図－1による補修 （既存塗膜等の除去及び下地処理工程まで） ウレタン塗膜防水（X－2）					
改 修 リ ス ト							
符 号	改 修 箇 所	改 修 前	改 修 後	符 号	改 修 箇 所	改 修 前	改 修 後
◇1	棟包み	カラーステンレス鋼板 t0.5	棟包み鋼板ジョイント部防水テープ貼（鋼板同系統色）（既存防水テープ除去、清掃共）	◇16	風除室上部立上り壁	石膏ボードt12.5ビニールクロス貼 ビニールクロス撤去	下地調整のうえ、E P 塗装
◇2	棟飾り	カラーステンレス鋼板 t0.5	棟飾り鋼板取付部分シーリング打（既存シーリング除去、清掃共）	◇17	エントランスホーローパネル 目地	ホーローパネル目地シーリング打替（撤去）	ホーローパネル目地シーリング打替（新設）
◇3	外壁ボーダータイル	せっき質小口タイル貼	せっき質小口タイル貼補修 （フローチャートによる）	◇18	エントランスホーローパネル	エントランスホーローパネル	ホーローn' 裨面全面水洗い清掃
◇4	外壁タイル	せっき質二丁掛けタイル貼	せっき質二丁掛けタイル貼補修 （フローチャートによる）	◇19	エントランス ステンレスカバー目地	ステンレスカバー目地シーリング打替（撤去）	ステンレスカバー目地シーリング打替（新設）
◇5		欠番		◇20	エントランス ステンレスカバー	ステンレスカバー	ステンレスカバー水洗い清掃
◇6	外壁打放し面	合板型枠打放し 目地切 外装薄塗材 E	水洗い工法（15MPa程度ブラシ併用）、下地調整材のうえ、外装薄塗材 E （フローチャートによる）	◇21	外部木部見え掛り	木材保護塗料 3 回塗	既存木材保護塗料塗面 あく洗い、下地調整（R B 種）のうえ木材保護塗料塗 3 回塗
◇7	軒天・梁型打放し面	合板型枠打放し 目地切 外装薄塗材 E	水洗い工法（15MPa程度ブラシ併用）、下地調整材のうえ、外装薄塗材 E （フローチャートによる）			欠番	
◇8	外壁誘発目地シーリング	外壁誘発目地シーリング打替（撤去）	外壁誘発目地シーリング打替（新設）	◇23	エントランス トップライトガラスビード	ガラス内側ビード	ガラス内側ビード外れ箇所補修
◇9	外部建具廻りシーリング	外部建具廻りシーリング打替（撤去）	外部建具廻りシーリング打替（新設）（打替え箇所、寸法等は建具表、詳細図による）	◇24	風除室 梁上端合板張り	梁上端合板張り	既設合板の上、耐水合板 t 12増貼
◇10		欠番		◇25		欠番	
◇11	外部アルミガラリ	外部アルミガラリ	外部アルミガラリ：ステンレス防虫網取替 （範囲は立面図及び建具表による）			欠番	
◇12	外構）天然石舗装	天然石舗装 t 8撤去	樹脂モルタル舗装 t 8	◇27	中庭廻り陸屋根上 縦樋（横引き管共）	縦樋（横引き管共）：白ガス管φ100 OP塗 摺み金物FB OP塗	縦樋（横引き管共）：白ガス管φ100 OP塗面及び摺み金物FB OP塗面 下地調整のうえ、DP塗装
◇13	天井岩綿吸音板	天井：石膏ボードt9.5捨貼 岩綿吸音板t15リブ付	天井：既存岩綿吸音板t15リブ付面 E P 塗 （範囲：天井伏図による）				
◇14	中庭） 底・梁型上端面	底・梁型上端防水モルタル金ゴテ ウレタン塗膜防水	底・梁型上端面 水洗い工法（15MPa程度ブラシ併用）のうえ、ウレタン塗膜防水（X-2） （フローチャートによる）				
◇15	中庭底上立上り壁面 （中庭側）	合板型枠打放し 外装薄塗材 E	水洗い工法（15MPa程度ブラシ併用）、下地調整材のうえ、外装薄塗材 E （フローチャートによる）				
備 考				株式会社 三 宅 設 計		承 認	設 計
				TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432		設計年月日	N0.
				1 級 建 築 士 三 宅 晶 信 第 68278 号			06
						工事名	広見東地区センター外部改修工事
						図面名	改修フローチャート・改修リスト scale 1/

改修工法フロー図ー１（コンクリート打放し面・モルタル面）										
特記なき事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による										
コンクリート打放し部・モルタル塗り部 改修フロー			モルタル浮き部	モルタル浮き部 （剥落の恐れのある0.25㎡以上の浮き）	欠損部等 （鉄筋爆裂部・鉄筋露出部共）	ひび割れ部	ひび割れ部	ひび割れ部		
			注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	モルタル塗替え工法	エポキシ樹脂モルタル充填工法	リカットシール材充填工法	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	シール工法		
補修範囲の確認 劣化現象調査 良好部分 浮き部 ひび割れ 欠損部等 （注3） 注入口付アンカー ピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ひび割れ幅・位置の確認 躯体までの貫通ひび割れ有無の確認 改修工法の選定 幅1.0mm超 （注2） 幅0.2mm以上～1.0mm以下 （注2） 幅0.2mm未満 （注1） （注3） 既存表層劣化塗膜等の除去及び下地処理 外壁一般部・庇上裏（立上り面共）・中庭庇及び梁型：水洗い工法（15MPa程度ブラシ併用） ※特記ある部分の下地処理は、監督職員の承諾を得て行い、処理後に確認を受けること 下地処理調整材 吹付もしくはこて塗（材料・工法は監督職員の承諾を得ること） 下地調整材の種別：セメント系下地調整塗材（Cー2） コンクリート打放し面及び、モルタル仕上面、上表面：外装薄塗材E 吹付＋ローラー仕上 トップコート：水系アクリル樹脂塗料 工法：凹凸模様 （注1）：モルタルが浮いている部分のひび割れ部にも施工 （注2）：モルタルが浮いていないひび割れ部に施工 または、モルタルが浮いている部分のひび割れで、躯体まで貫通しているひび割れについても施工する 但し、モルタルのひび割れと、躯体のひび割れがずれている場合は、躯体のひび割れに沿ってモルタルをハツリ、 コンクリート面に注入施工を行うこと （注3）：通常レベルの打撃力によって剥落する恐れのあるモルタルの浮きは、監督職員と協議のうえモルタル塗替え工法 又は充填工法とする ※外壁及び庇上裏（立上り面共）・中庭庇及び梁型の既存吹付仕上塗材のうち下地調整材（推定）にはアスベストが 含有している			モルタル浮き部分の確認 劣化状態・面積・浮き代 下地状態 穿孔位置のマーキング （一般部分：16本/㎡当り） また、狭幅部（幅200mm以下） には、幅中央に5本/㎡とする 穿孔 （コンクリート中に20mm以上の 深さまで） 穿孔内の清掃 （ブラシ等で清掃後、圧搾空気 による切粉等の除去） 注入用材の計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定量 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる 計量は可使用時間内に使い 切る量とする） アンカーピンの挿入 （アンカーピンの長さは、 モルタルの厚みに+20mm以上） 手動式注入器により エポキシ樹脂の注入 （特記なき場合：1穴当り 25cc 高粘度形） エポキシ樹脂パテ等にて 孔を埋め表面を平に仕上げる 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認） ※樹脂注入材については サンプリングし硬化不良 の無い事を確認する	モルタル浮き部分の確認 劣化状態・面積・浮き代 下地状態 脆弱部分と健全部分を切り離し 脆弱部分の除去 除去部の清掃 ステンレスアンカーピン打込み ステンレスラス張り等の剥落防止 （総塗り厚が25mm以上になる場合） プライマーの塗布 モルタルの計量・練混ぜ （機械練りを原則とし、練混ぜ量は 可使用時間内に使いきれ る量とする） モルタル塗り 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）	鉄筋の錆汁流出部や ハガレ部の確認 （劣化状態の確認） 鉄筋の錆汁流出部はつり 並びにハガレ部分の撤去 除去部の清掃 防錆処理 （エポキシ系防錆材塗布） プライマーの塗布 充填材の計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定量 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる） エポキシ樹脂モルタル充填 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）	ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態 ひび割れに沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm 程度にU字型の溝を設ける リカット溝内部に付着している切片、 粉じん等はワイヤーブラシ、はけ等 で除去し入念に清掃を行なう 被着体に適したプライマーを溝内部 に塗残しのないよう均一に塗布する 2成分形シーリング材を均一になる まで練混ぜる シーリング材は表面から3～5mm低め に隅々まで行きわたるよう充填し、 へらで押え下地と密着させて表面を 平滑に仕上げる シーリング材が硬化するまで適切に 養生を行なう シーリング材のうえにポリマーセメ ントモルタルをコンクリート表面に 合わせて平滑に塗込み仕上げる ポリマーセメントモルタルが硬化す るまで適切に養生を行なう 充填部以外に付着した材料、汚れ等 を適切な方法で除去し、清掃する 自主確認（充填状況を目視や指触に より確認）	ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態 ひび割れ部分の清掃 注入孔位置のマーキング 台座の接着 仮止めシール （ひび割れ幅を中心に 幅30mm、厚さ2mm程度 シールする） シール材などの養生 （仮止めシール材などが 硬化するまで養生） 注入用エポキシ樹脂の 計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定量 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる 計量は可使用時間内に使い 切る量とする） エポキシ樹脂注入 養生 仕上（仮止めシール材除去） 清掃後、自主確認 （注入状況を目視確認） ※樹脂注入材については サンプリングし硬化不良 の無い事を確認する	ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態 ひび割れ部分の清掃 シール材の計量・練混ぜ （規定量正確に計測し、 均一になるまで練り混ぜる） シール材の塗布 （ヘラ等で幅10mm 厚み2mm程度塗布し 表面を平滑に仕上げる） 養生 清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）		
改修特記事項										
1 仮設足場設置後、改修フローチャートに則り、施工対象箇所を現地調査すること。 2 調査の際、外壁診断技術をもつ者が必ず立ち会い、補修範囲をマーキングすること。 3 マーキングは色分け等を行い、タイル面・下地モルタル浮き、クラック補修範囲を明示すること。 4 マーキングにて補修範囲を示した後、監督員による現場確認を行い、補修工事範囲の決定をする。 現場のみではなく、図面にも補修範囲を記入し、監督員に提出すること。 5 設計図と補修範囲が大きく相違する場合、監督員と協議を行うこと。										
備考			株式会社 三宅設計 TEL 0574（62）1881 FAX 0574（62）5432 1級建築士 三宅晶 第68278号			承認	設計	設計年月日	N0. 07	工事名 広見東地区センター外部改修工事 図面名 コンクリート打放し部・モルタル部改修フロー図 scale A2：――

改修工法フロー図－２（外壁タイル張り面）									
改修特記事項					備 考				
1 仮設足場設置後、改修フローチャートに則り、施工対象箇所を現地調査すること。									
2 調査の際、外壁診断技術をもつ者が必ず立ち会い、補修範囲をマーキングすること。									
3 マーキングは色分け等を行い、タイル面・下地モルタル浮き、クラック補修範囲を明示すること。									
4 マーキングにて補修範囲を示した後、監督員による現場確認を行い、補修工事範囲の決定をする。									
現場のみではなく、図面にも補修範囲を記入し、監督員に提出すること。									
5 設計図と補修範囲が大きく相違する場合、監督員と協議を行うこと。									
改修特記事項					備 考				
タイル張部 改修フロー									
外壁の状況調査 タイル面の浮き 下地の浮きの場合 タイル貼替工法 （範囲：図示範囲） 但し、現地施工前調査により精査） タイル陶片浮きの場合 タイル陶片浮き部のタイル・張付けモルタル撤去 新設タイルによる復旧・清掃 タイル面クリーニング下地処理：水洗い（15MPa程度） タイル面（全面）のクリーニング（酸洗い） タイル面のクラック部分 クラック部分周囲のタイル・下地モルタル撤去 ひび割れ幅・位置の確認 躯体までの貫通ひび割れ有無の確認 改修工法の選定 ひび割れ幅 1.0mm超 Uカット シール材充填工法 下地モルタル・新設タイル による復旧・清掃 ひび割れ幅 0.2mm以上～1.0mm以下 自動式低圧 エポキシ樹脂注入工法 良好部分					タイル浮き補修	躯体コンクリートひび割れ部	躯体コンクリートひび割れ部	欠損部等 （鉄筋爆裂部・鉄筋露出部共）	
					注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	Uカットシール材充填工法	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	エポキシ樹脂モルタル充填工法	
					モルタル浮き部分の確認 劣化状態・面積・浮き代 下地状態	ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態	ひび割れ部分の確認 劣化状態・ひび割れの状態	鉄筋の錆汁流出部や ハガレ部の確認 （劣化状態の確認）	
					穿孔位置のマーキング（一般・指定共） アンカーピン：16本/m当たり	ひび割れに沿って電動カッター等を用いて幅10mm程度、深さ10～15mm程度にU字型の溝を設ける	ひび割れ部分の清掃	鉄筋の錆汁流出部はつり 並びにハガレ部分の撤去	
					また、狭幅部（幅200mm以下） には、幅中央に5本/mとする	Uカット溝内部に付着している切片、 粉じん等はワイヤーブラシ、はけ等 で除去し入念に清掃を行なう	注入孔位置のマーキング	除去部の清掃	
					穿 孔 （コンクリート中に20mm以上の 深さまで）	被着体に適したプライマーを溝内部 に塗残しのないよう均一に塗布する	台座の接着	防錆処理 （エポキシ系防錆材塗布）	
					穿孔内の清掃 （ブラシ等で清掃後、圧搾空気 による切粉等の除去）	可とう性エポキシ樹脂を均一になる まで練混ぜる	仮止めシール （ひび割れ幅を中心に 幅30mm、厚さ2mm程度 シールする）	プライマーの塗布	
					注入用材の計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定の量を正確に 計測し、均一になるまで十分練り 混ぜる 計量は可使用時間内に使い切る量 とする）	可とう性エポキシ樹脂を隔々まで行 きわたるよう充填し、へらで押え、 下地と密着させて表面を平滑に仕上 げる	シール材などの養生 （仮止めシール材などが 硬化するまで養生）	充填材の計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定の量を 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる）	
					アンカーピンの挿入 （アンカーピンの長さは、 モルタルの厚みに+20mm以上）	可とう性エポキシ樹脂が硬化しない うちに、その表面にけい砂を散布す る	注入用エポキシ樹脂の 計量・練混ぜ （主材と硬化剤を規定の量を 正確に計測し、均一に なるまで十分練り混ぜる 計量は可使用時間内に使い 切る量とする）	エポキシ樹脂モルタル充填	
					手動式注入器により エポキシ樹脂の注入 （特記なき場合：1穴当り 25cc 高粘度形）	可とう性エポキシ樹脂が硬化するま で適切に養生を行なう	エポキシ樹脂注入	養生	
					養生	充填部以外に付着した材料、汚れ等 を適切な方法で除去し、清掃する	養生	清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）	
					エポキシ樹脂パテ等にて 孔を埋め表面を平に仕上げる	自主確認（充填状況を目視や指触に より確認）	仕上（仮止めシール材除去） 清掃後、自主確認 （注入状況を目視確認）		
					清掃後、自主確認（充填 状況を目視や指触により確認）		※樹脂注入材については サンプリングし硬化不良 の無い事を確認する		
					※樹脂注入材については サンプリングし硬化不良 の無い事を確認する				



株 式 会 社 三 宅 設 計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432 1 級 建 築 士 三 宅 晶 信 第 68278 号

承認

設計

設計年月日

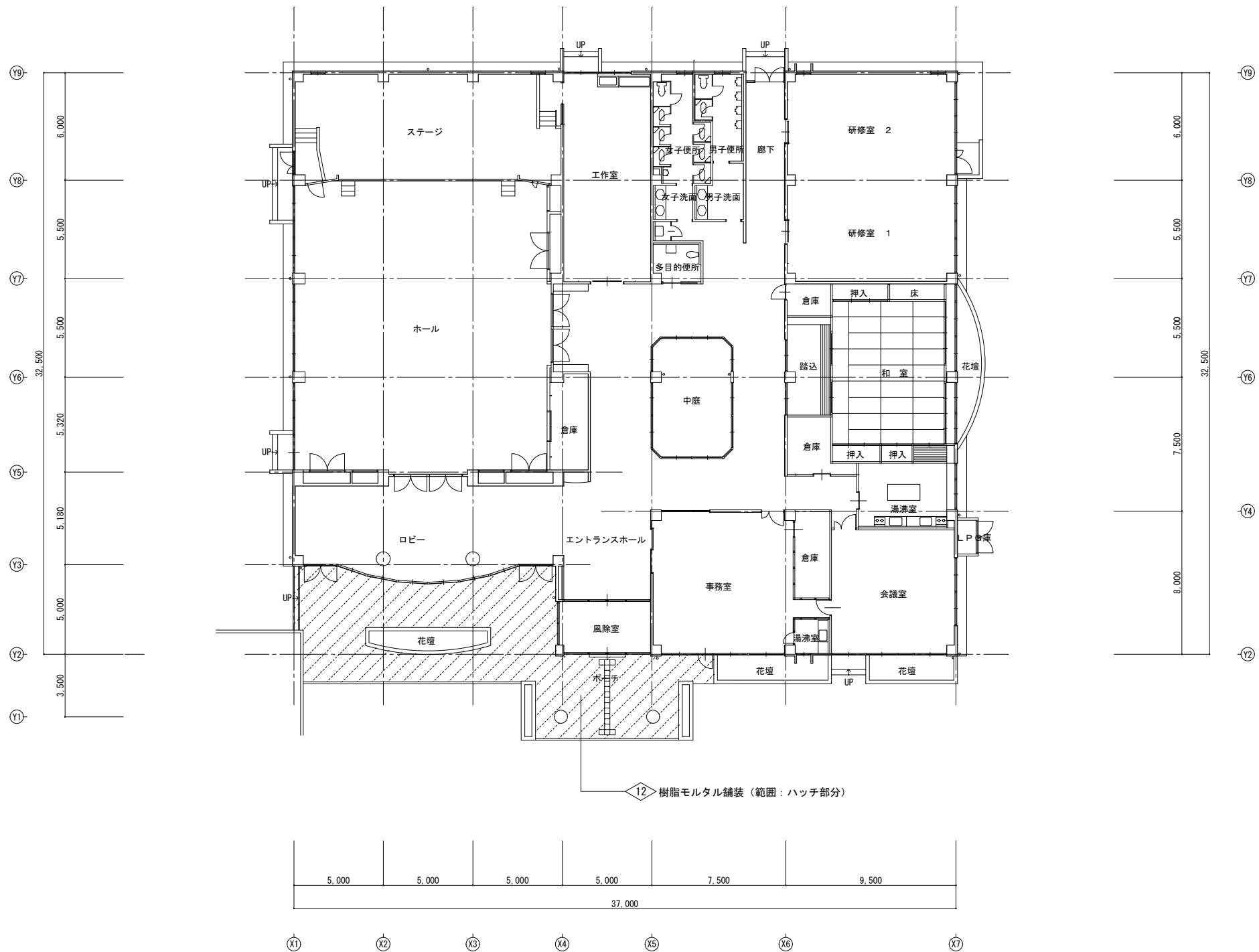
NO.

工事名 広見東地区センター外部改修工事

図面名 タイル張り部改修フロー図

scale A2 : —

08



1 階平面図 1/200

備考



株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

設計年月日

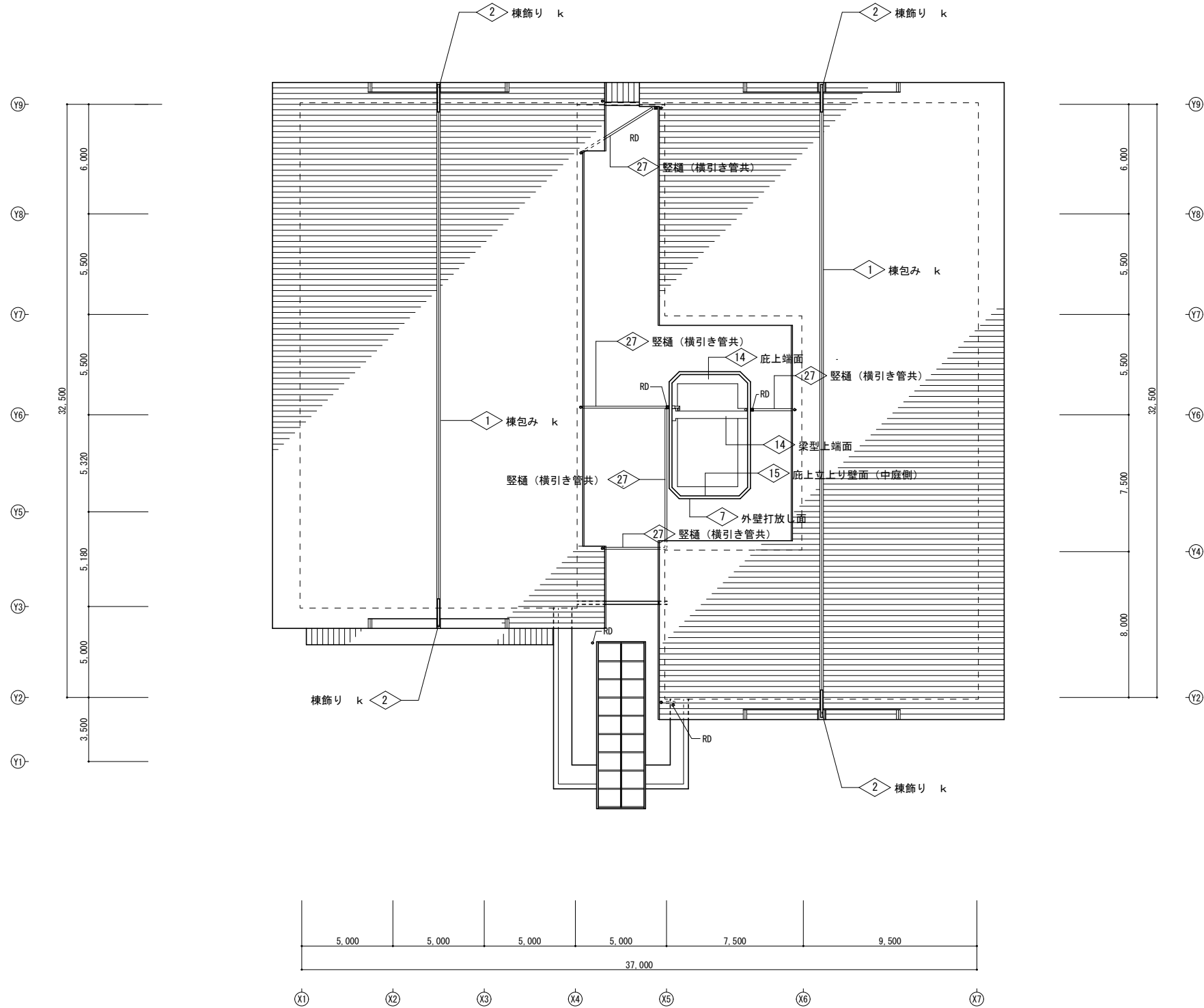
N0.

09

工事名 広見東地区センター外部改修工事

図面名 1階平面図

scale 1/200



R 階平面図 1/150

備 考



株 式 会 社

三 宅 設 計

TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432

1 級 建 築 士 三 宅 晶 信 第 68278 号

承 認

設 計

設計年月日

NO.

10

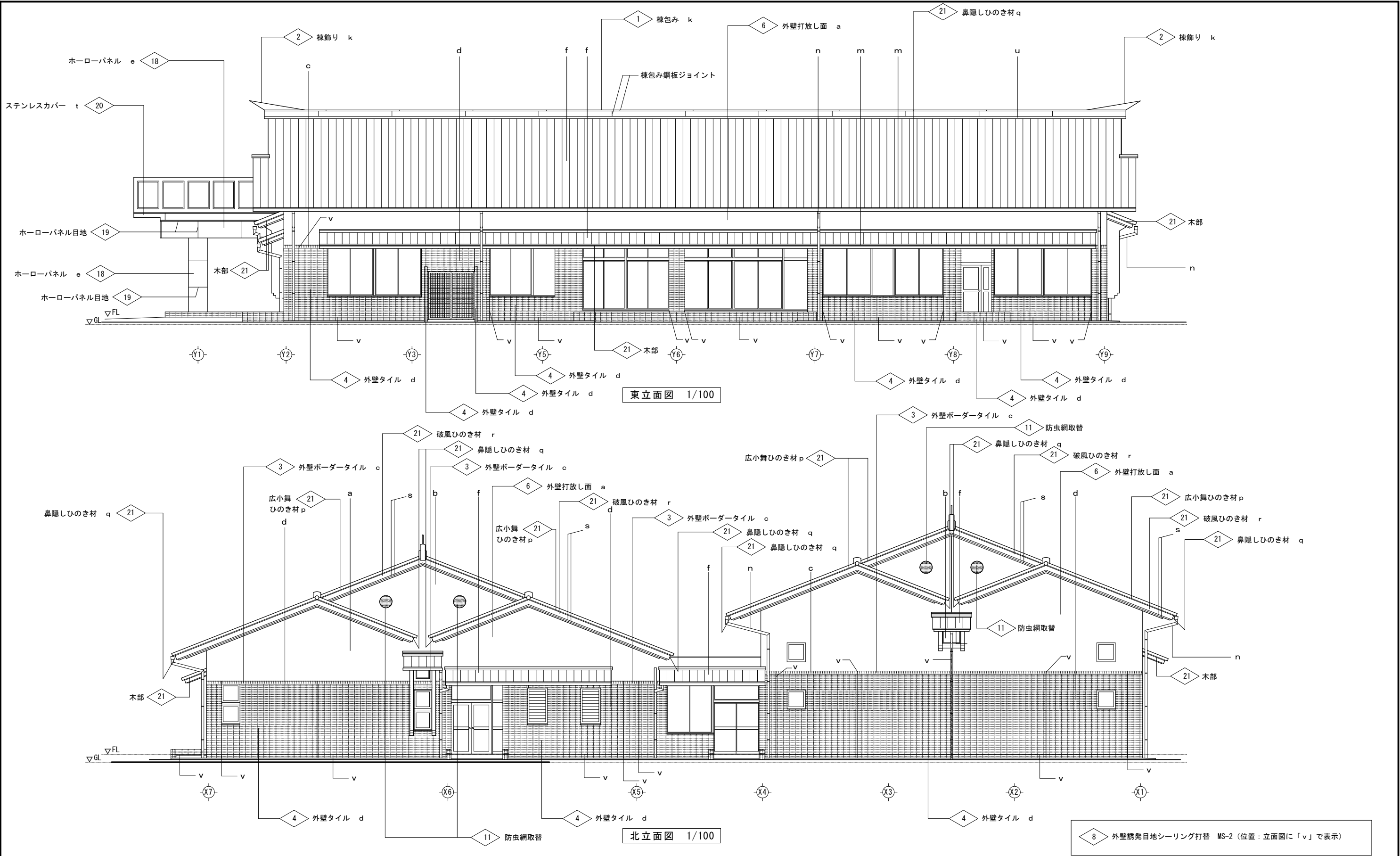
工事名

広見東地区センター外部改修工事

図面名

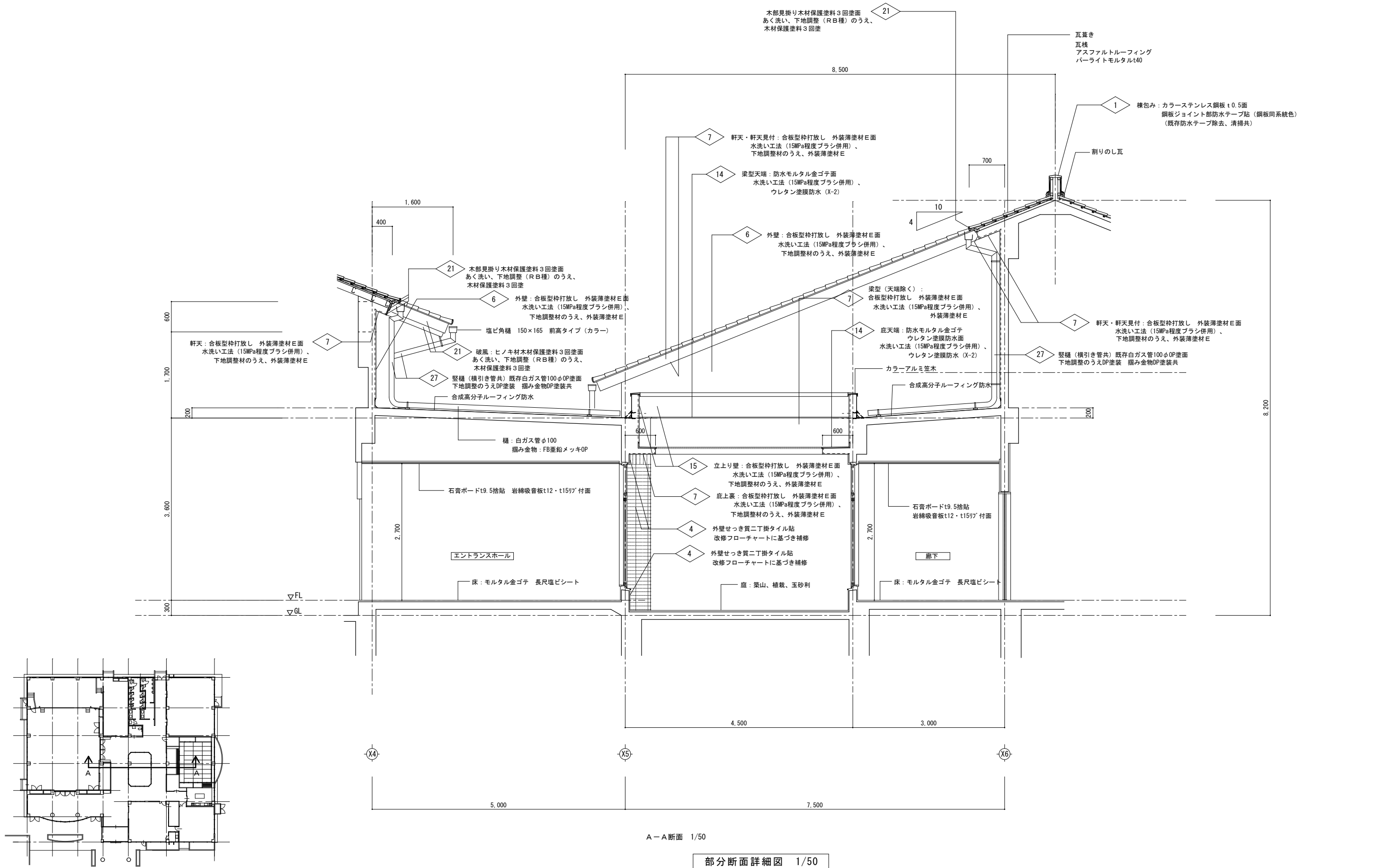
R 階平面図

scale 1/200



外部仕上表（現状）										
凡例	a	合板型枠打放し目地切 外装薄塗材E	f	パ－ライトタイル t40下地 7ｽﾌﾟﾙﾄｰﾌﾞｰﾌﾞ 22kg 瓦棒（引掛棧葺）	k	カラーステンレス鋼板t0.6加工	p	広小舞：ヒノキ材	u	割りのし瓦2段 瓦土および漆喰塗
	b	合板型枠打放し 外装薄塗材E	g	下地木毛混入木片セメント板t25mm 7ｽﾌﾟﾙﾄｰﾌﾞｰﾌﾞ 22kg 瓦棒（引掛棧葺）	l	笠木：カラーアルミ笠木	q	鼻隠し：ヒノキ材 木材保護塗料3回塗	v	誘発目地
	c	ボーダー：せつ器質小口タイル	h	磁器質ノｽﾘｯﾌﾟ ﾀｲﾙ60×150	m	塩ビ製角樋 150×150 前高タイプ（カラー）	r	破風：ヒノキ材 木材保護塗料3回塗	w	
	d	せつ器質二丁掛タイル	i	ステンレストップライト	n	ステンレス管φ100 掘み金物：ステンレスFB	s	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 外装薄塗材E	x	
	e	ホ－ロー鋼板パネルt1.6	j	ステンレス巾木t2.0 HL	o	白ガス管φ100 掘み金物：FB 亜鉛メッキの上OP	t	ｽﾃﾝﾚｽｶﾊﾞｰt1.5HL	y	

備考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号		承認	設計	設計年月日	NO. 12	工事名	広見東地区センター外部改修工事	
							図面名	立面図 (2)	scale 1/100

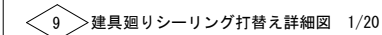
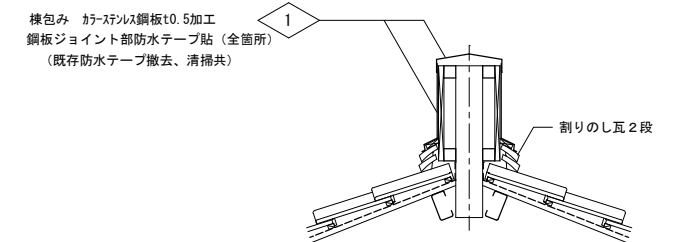
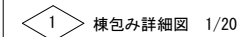
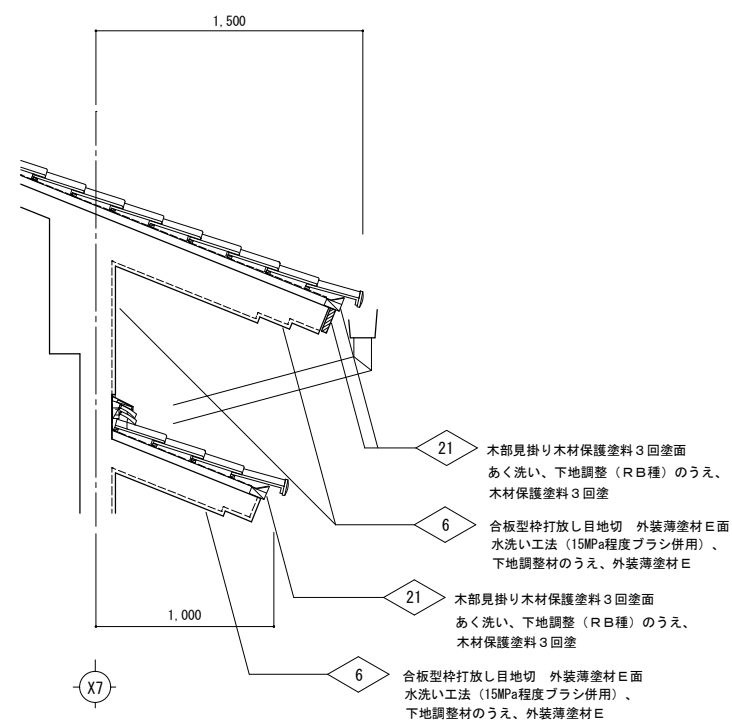
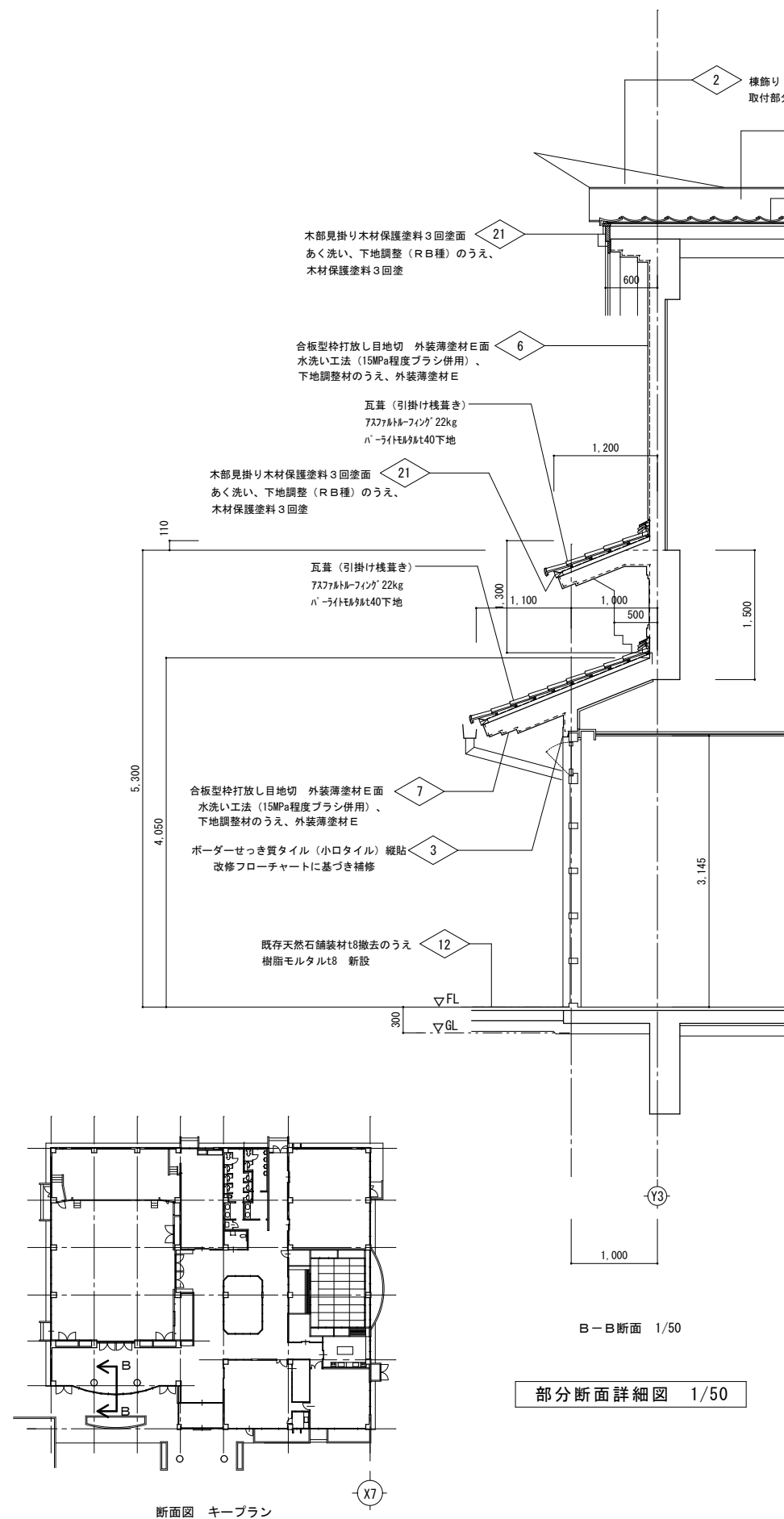


A-A断面 1/50

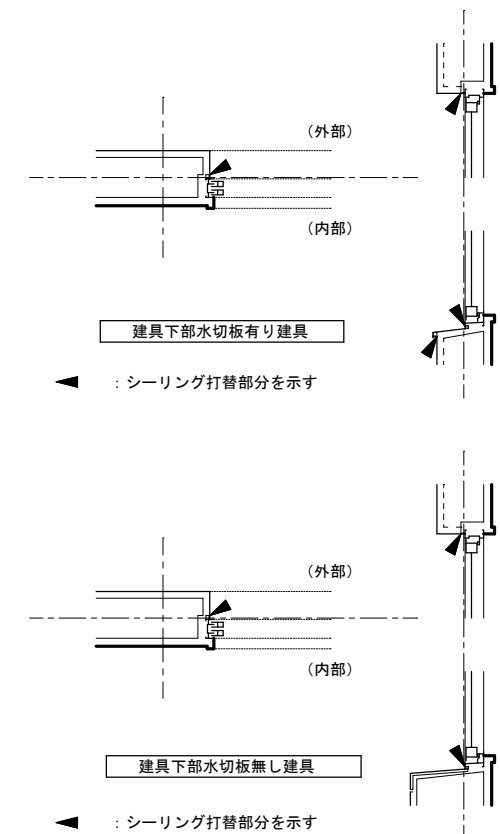
部分断面詳細図 1/50

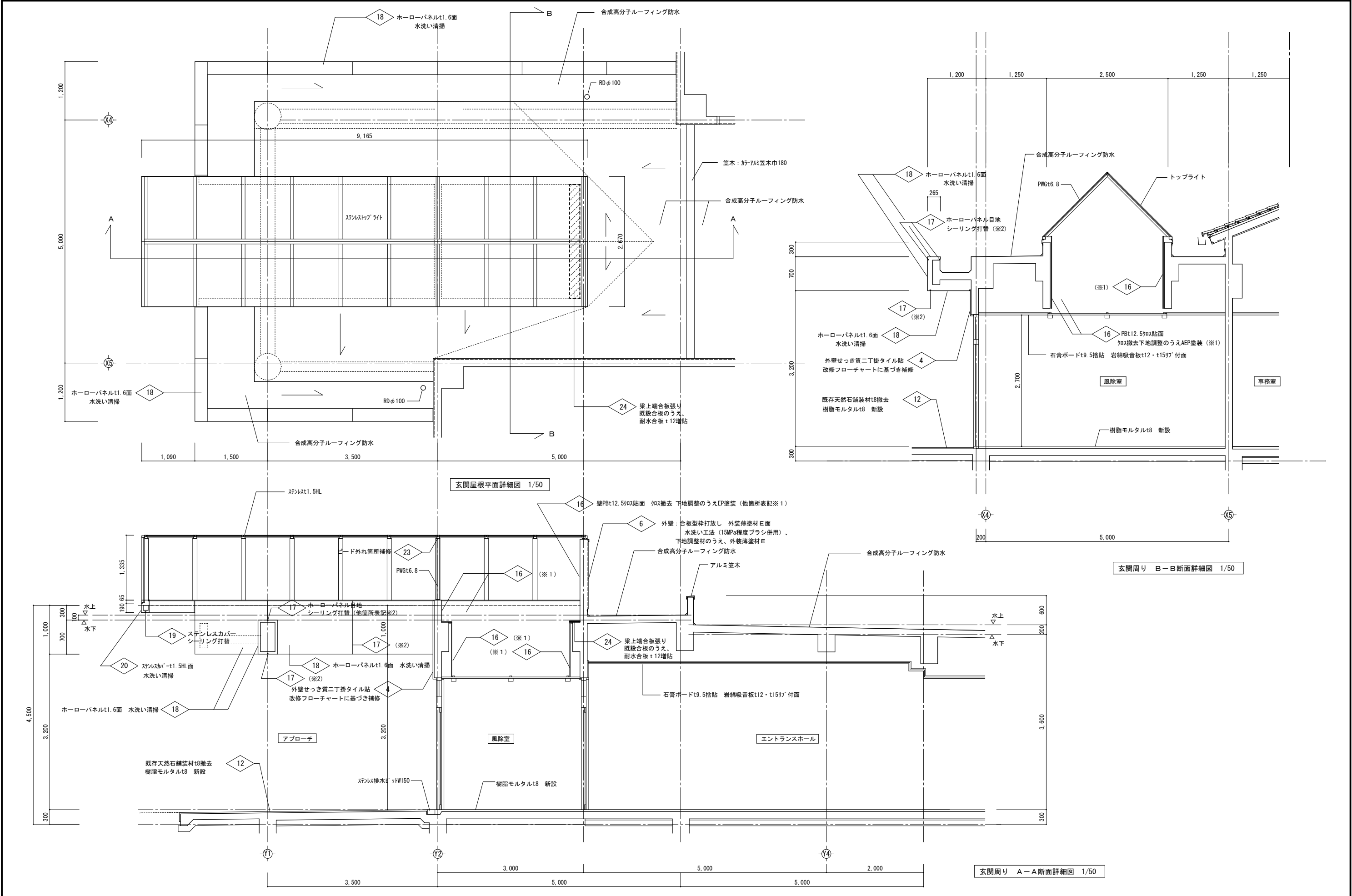
断面図 キープラン

備 考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅 晶 信 第68278号				承認	設計	設計年月日	NO. 13	工事名	広見東地区センター外部改修工事
									図面名	部分断面詳細図 (1)

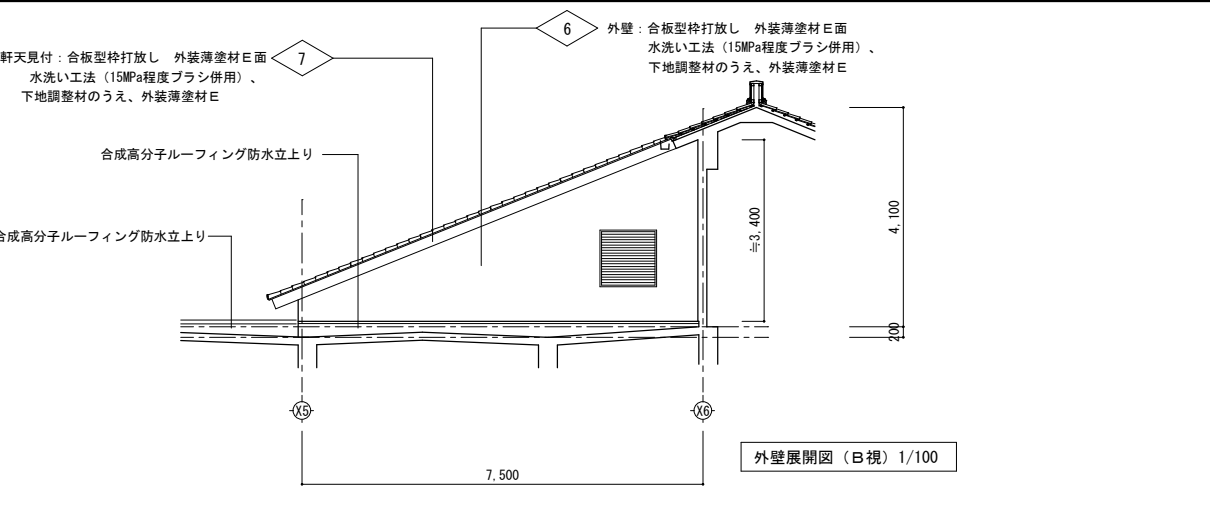


※特記無き限り建具下部は水切り板有りを示す

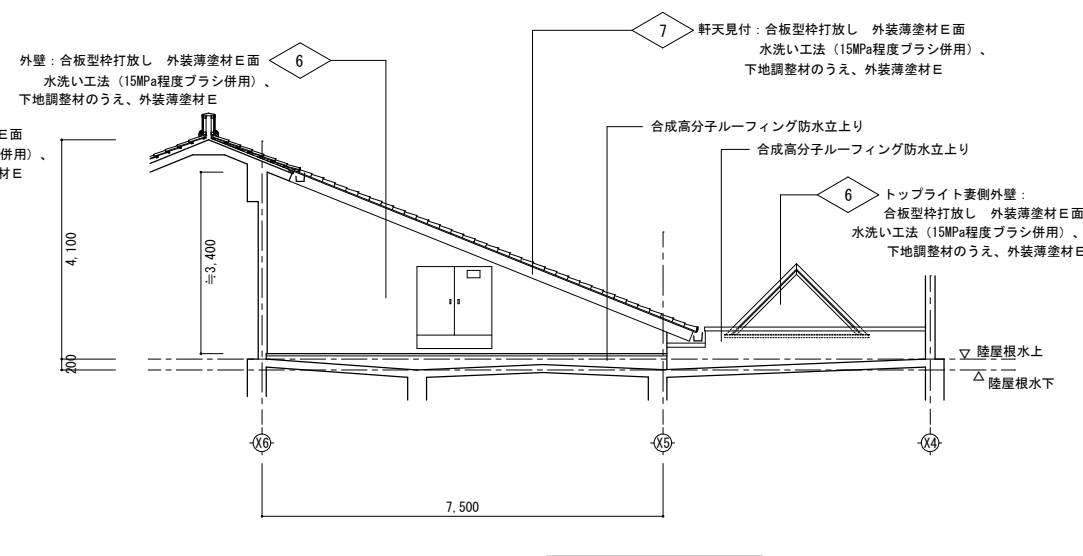




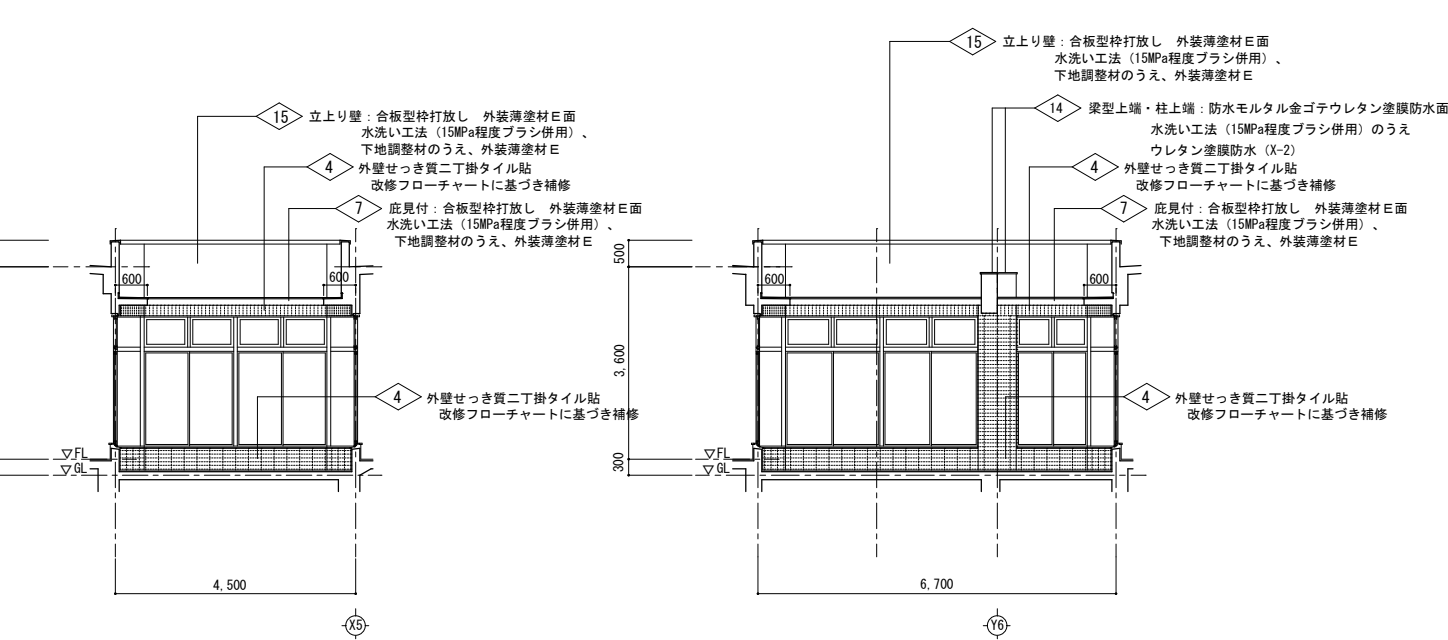
備 考	株 式 会 社 三 宅 設 計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1 級 建 築 士 三 宅 晶 信 第 68278 号	承 認	設 計	設計年月日	NO. 15	工事名	広見東地区センター外部改修工事	
						図面名	矩計図（エントランスホール）	scale 1/50



外壁展開図 (B 視) 1/100

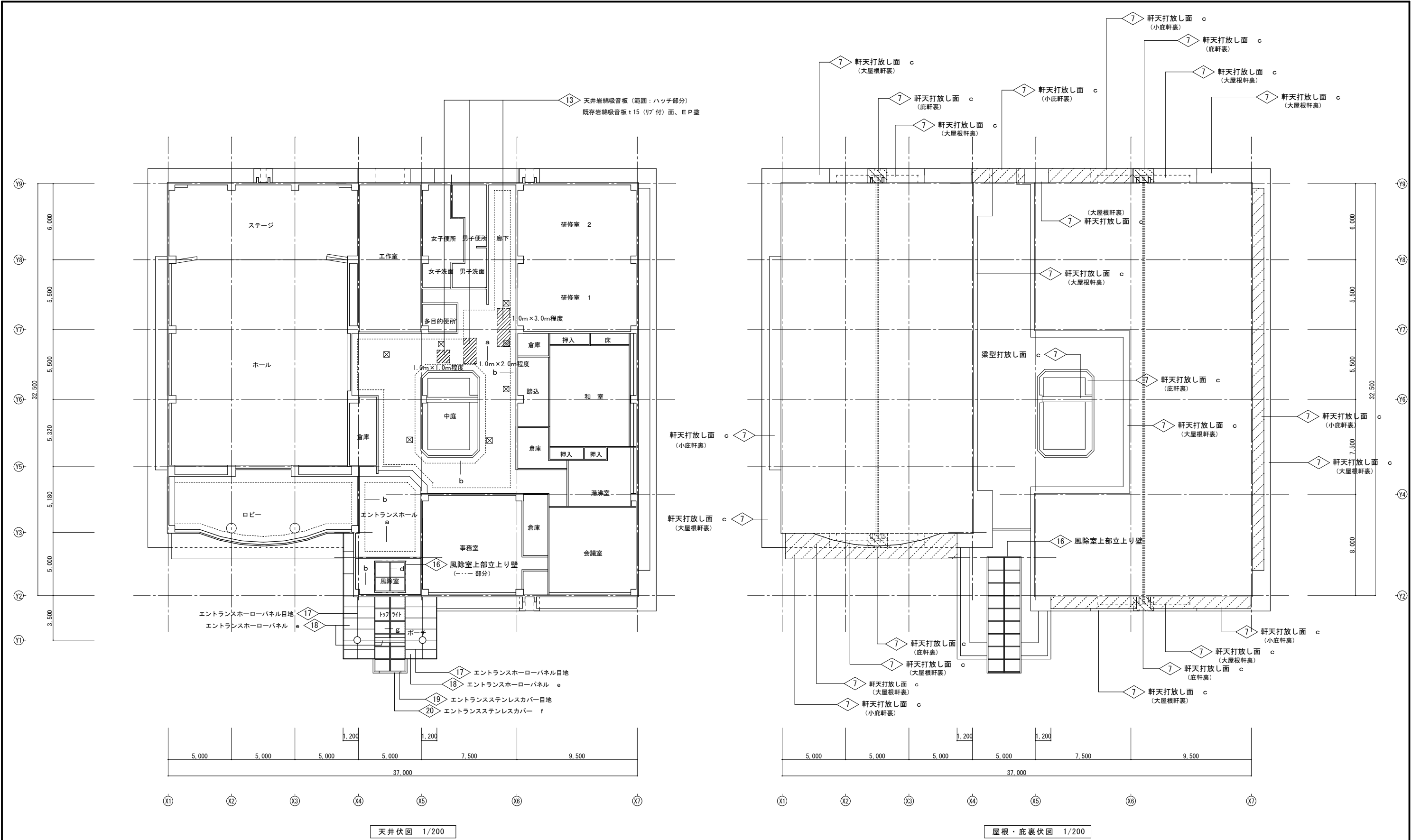


外壁展開図 (D 視) 1/100



中庭外壁展開図 (A 視) 1/100

備 考	株式会社 三宅設計 TEL 0574 (62) 1881 FAX 0574 (62) 5432 1級建築士 三宅晶信 第68278号	承認	設計	設計年月日	NO. 16	工事名	広見東地区センター外部改修工事	
						図面名	中庭廻り外壁展開図	scale 1/100



天井仕上（現状）					
凡例	a	石膏ボード t9.5捨張 岩綿吸音板張り t15リッ付	f	ステンレスカバー t1.5HL	
	b	石膏ボード t9.5捨張 岩綿吸音板張り t12	g	ステンレストップライト	
	c	合板型枠打放し 外装薄塗材E			
	d	木製格子			
	e	ホーロー銅板パネルt1.6	☒	天井点検口 アルミ450角	

備考

 株式会社 三宅設計

TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432

1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認

設計

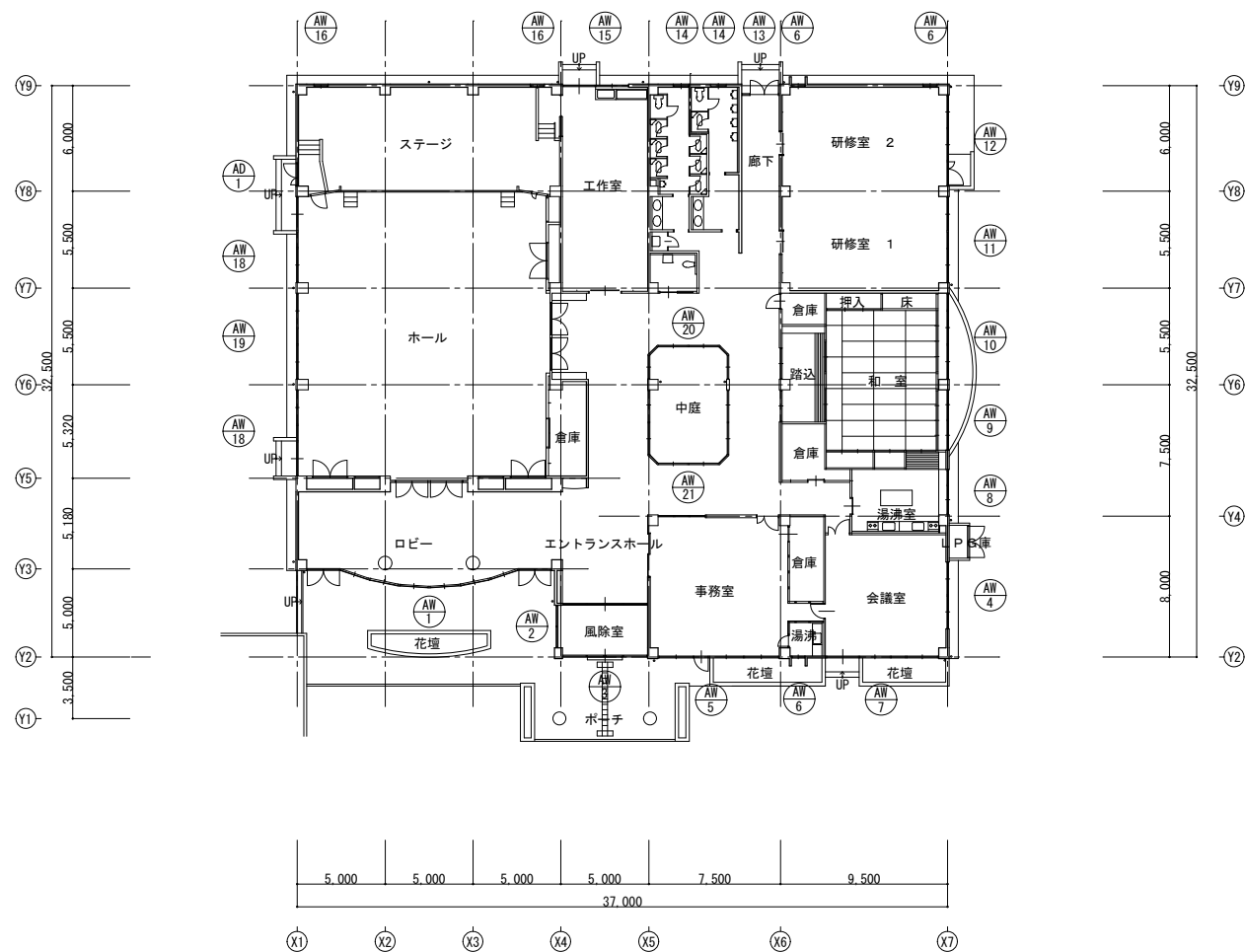
設計年月日

N0.
17

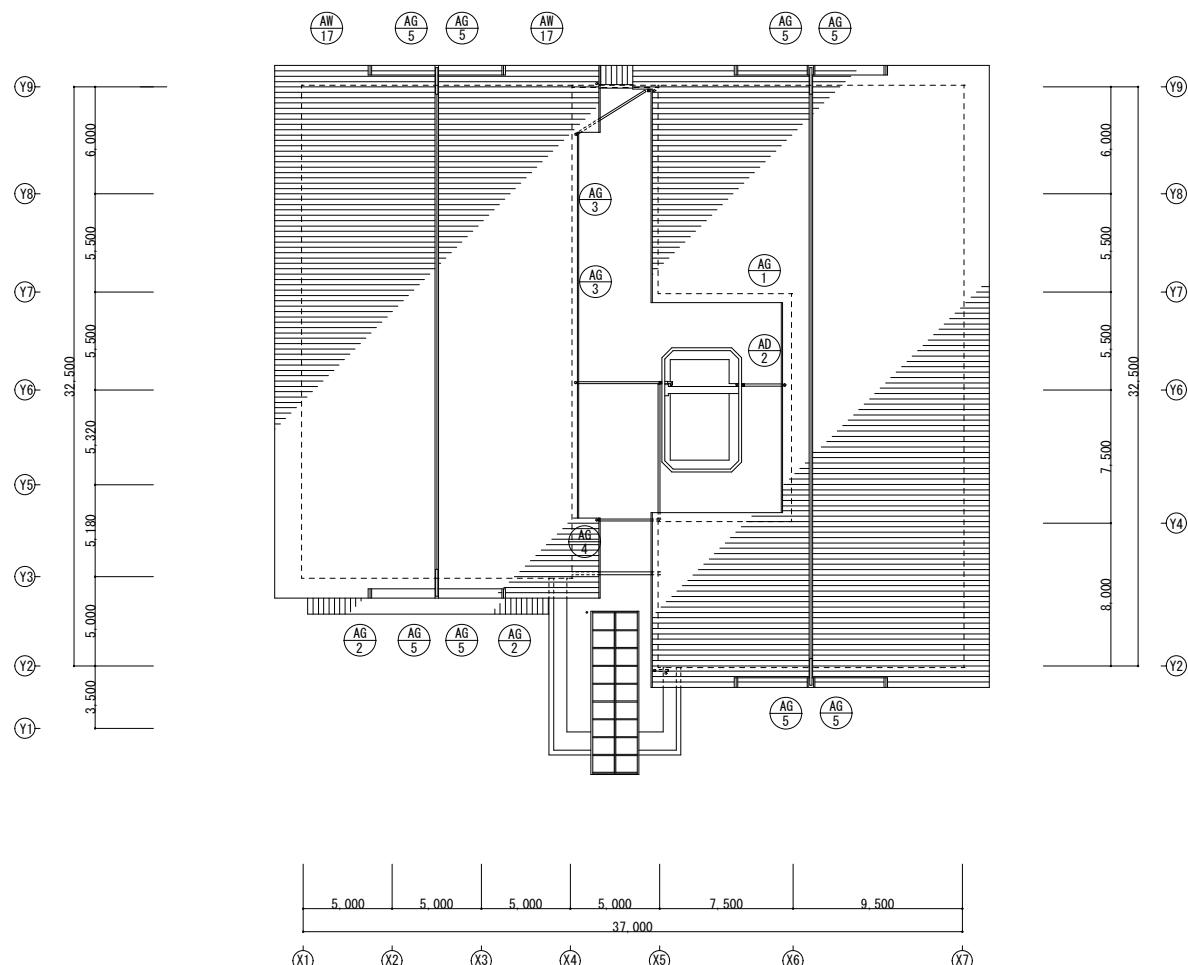
工事名
広見東地区センター外部改修工事

図面名
天井伏図

scale 1/200



1階平面図 1/300



2階平面図 1/300

備考

承認

設計

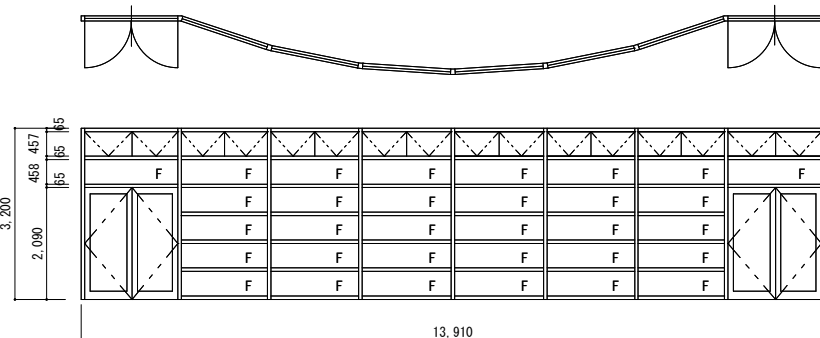
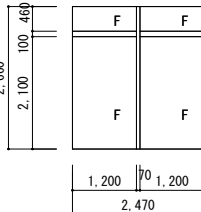
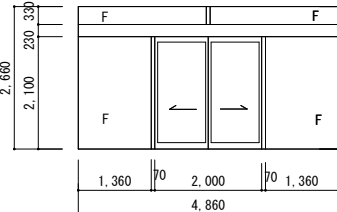
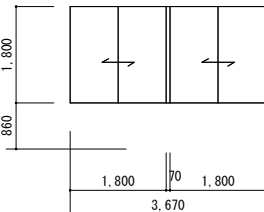
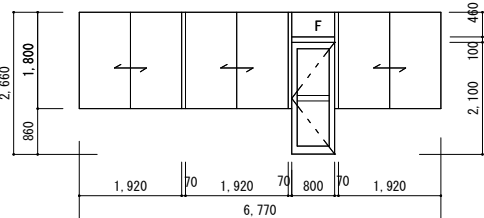
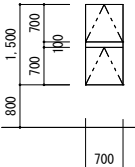
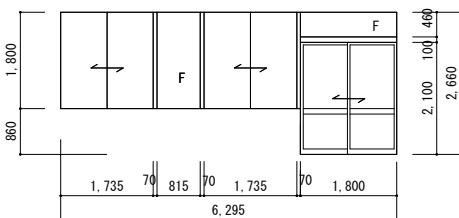
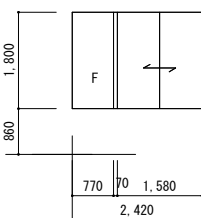
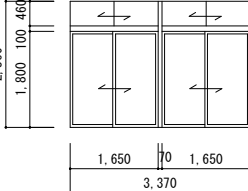
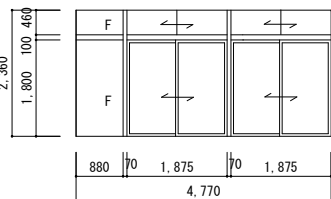
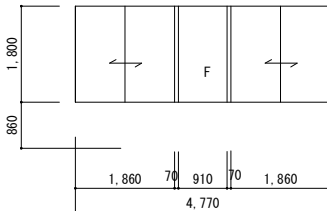
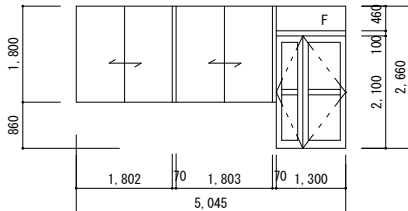
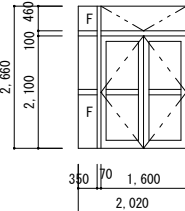
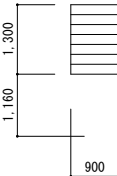
設計年月日

NO.

工事名 広見東地区センター外部改修工事

図面名 建具キープラン

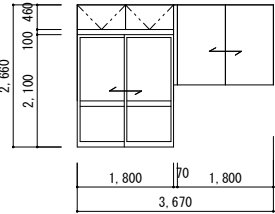
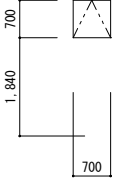
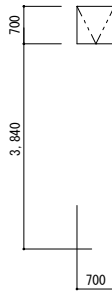
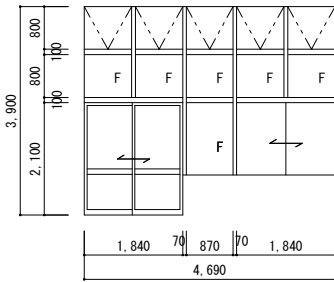
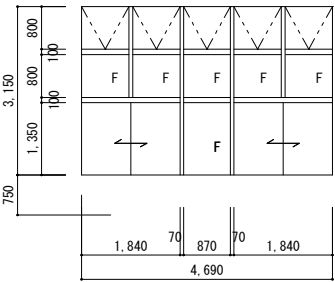
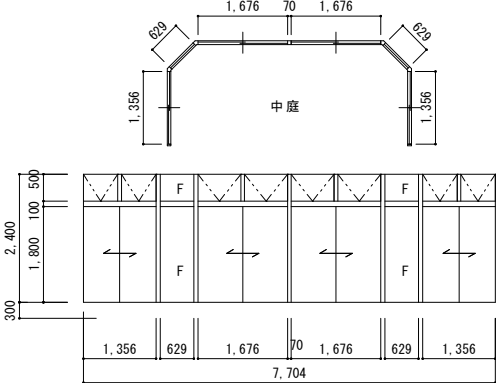
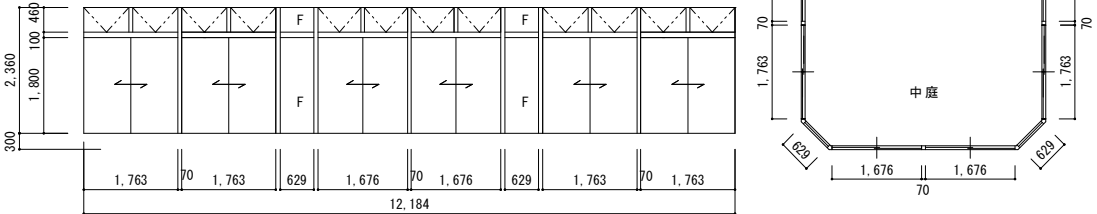
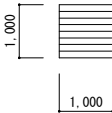
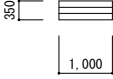
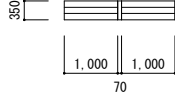
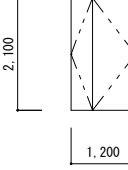
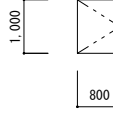
scale 1/300

記号	AW1			AW2			AW3			AW4															
型式	両開きアルミ框ドア はめ殺し ランマ外倒し排煙アルミサッシュ																								
寸法 W×H	13,910×3,200		数量	1		2,470×2,660		数量	1		4,860×2,660		数量	1		3,670×1,800		数量	1						
場所	ロビー												風除室			風除室			会議室						
立面																									
記号	AW5				AW6				AW7				AW8				AW9								
型式	片開きアルミ框ドア ランマはめ殺し 引違いアルミサッシュ				突き出し2段アルミサッシュ				引違いアルミ戸 ランマはめ殺し 引違いアルミサッシュ				袖はめ殺し引違いアルミサッシュ				掃出し引違い戸 ランマ引違いアルミサッシュ								
寸法 W×H	6,770×2,660		数量	1		700×1,500		数量	3		6,295×2,660		数量	1		2,420×1,800		数量	1		3,370×2,360		数量	1	
場所	事務室				湯沸×1、研修室2×2				会議室				湯沸室				和室								
立面																									
記号	AW10				AW11				AW12				AW13				AW14								
型式	掃出し引違い戸 袖はめ殺し ランマ引違いアルミサッシュ				引違いアルミサッシュ 袖はめ殺し				親子開きアルミ框ドア ランマはめ殺し 引違いアルミサッシュ				両開きアルミ框ドア ランマ外倒し排煙窓 片袖はめ殺し				ジャロジー								
寸法 W×H	4,770×2,360		数量	1		4,770×1,800		数量	1		5,045×2,660		数量	1		2,020×2,660		数量	1		900×1,300		数量	2	
場所	和室				研修室1				研修室2				廊下				便所								
立面																									

備考

株式会社 三宅設計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432
1級建築士 三宅 晶 信 第68278号

承認 設計 設計年月日 NO. 工事名 広見東地区センター外部改修工事
19 図面名 外部建具表 (1) scale 1/100

記号	AW 15			AW 16			AW 17			AW 18			AW 19		
	型式			型式			型式			型式			型式		
	寸法 W×H			寸法 W×H			寸法 W×H			寸法 W×H			寸法 W×H		
	場所			場所			場所			場所			場所		
立面															
	記号			記号			記号			記号			記号		
	型式			型式			型式			型式			型式		
	寸法 W×H			寸法 W×H			寸法 W×H			寸法 W×H			寸法 W×H		
立面	エントランスホール			エントランスホール			エントランスホール天井裏			エントランスホール天井裏			ロビー天井裏		
													※防虫網取替 2箇所共		
	記号			記号			記号			記号			記号		
	型式			型式			型式			型式			型式		
立面	空調スペース上部			ロビー天井裏空調スペース			外壁妻部			ステージ			倉庫天井裏		
															
	※防虫網取替 8箇所共														

備考

承認

設計

設計年月日

N0.

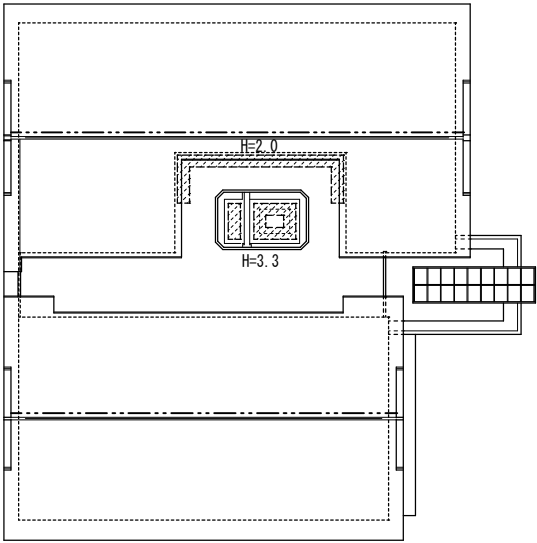
工事名 広見東地区センター外部改修工事

図面名 外部建具表 (2)

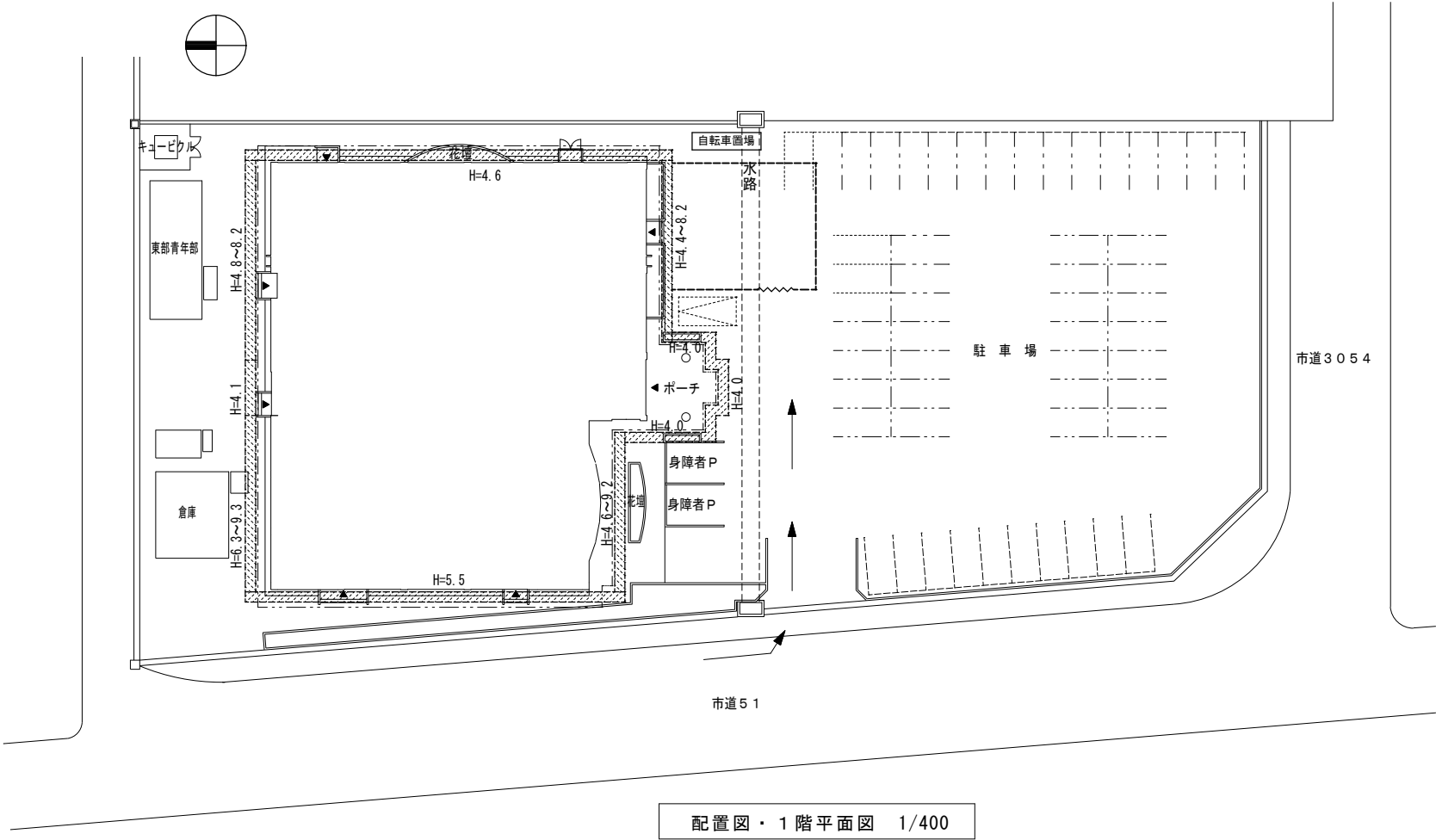
scale 1/100

20

凡 例	
 	外部足場：くさび緊結式足場（W900） メッシュシート共
	波形鉄板棚（H1800）
	クロスゲート H1,800 W3,000
	工事用車両進入経路
安全係員	必要に応じて工事車両出入口等に安全係員を配備する。
	親綱



屋根伏図 1/400



配置図・1階平面図 1/400

備考



株 式 会 社 三 宅 設 計
TEL 0574 (62) 1881
FAX 0574 (62) 5432

1 級 建 築 士 三 宅 晶 信 第 68278 号

承認

設計

設計年月日

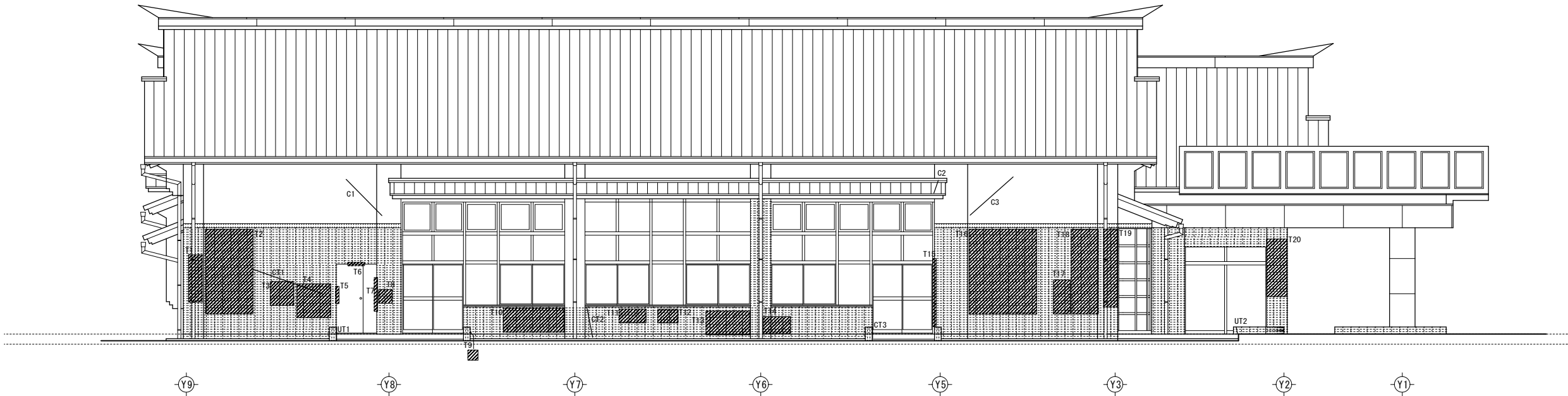
N0.

工事名 広見東地区センター外部改修工事

図面名 仮設計画図

scale 1/400

21



西立面図 1/100

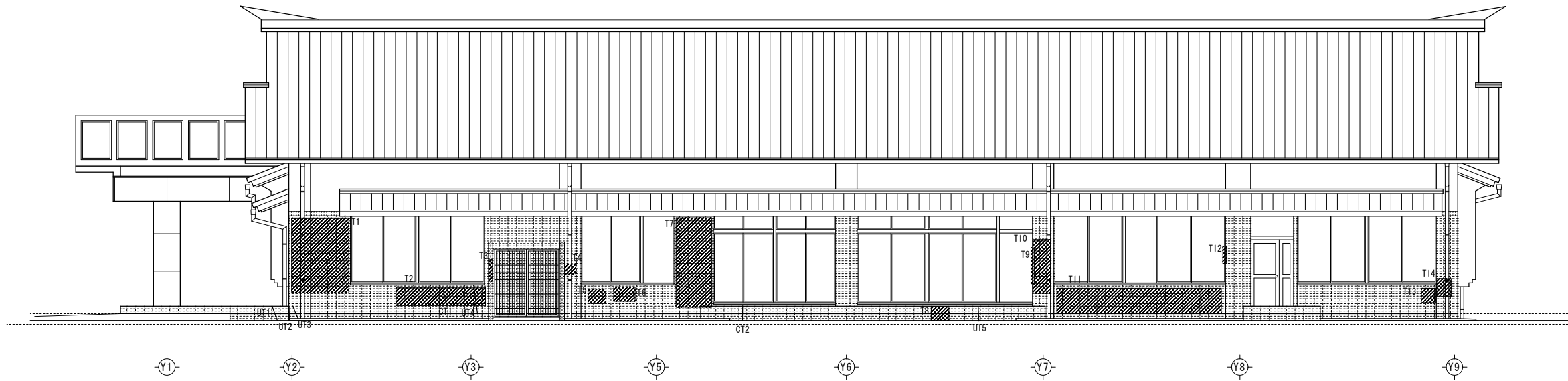


南立面図 1/100

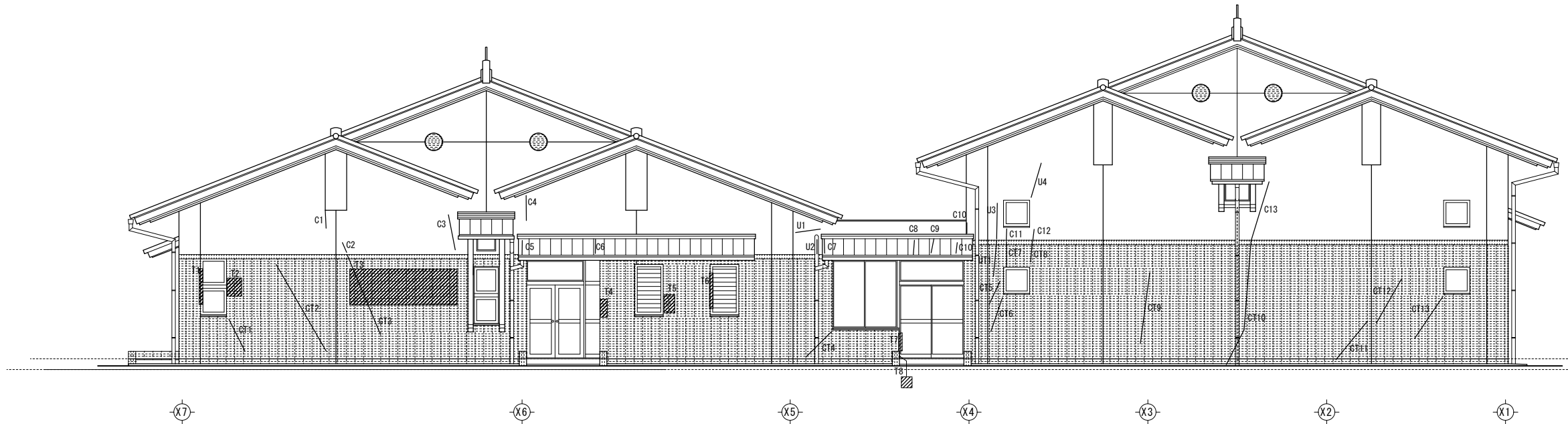
凡例	
打放し・モルタル面	
No.	浮き部
UNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上～1.0mm以下)
SNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm未満)
KNo.	欠損・爆裂 (100×100程度)
タイル張り面	
TNo.	浮き部
UTNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CTNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上～1.0mm以下)

外壁補修内容一覧									
■ 外壁タイル面不良箇所			■ モルタル塗り面不良箇所		■ コンクリート打ち放し面不良箇所			■ 特記事項	
	外壁	花壇		中庭回り		外壁	軒天	中庭回り	
タイル面の浮き (一般部)	35.3 m ²	0.2 m ²	モルタル塗り面の浮き (狭幅部)	0.5 m ²	ひび割れ (1.0mm超)	5.8 m	1.0 m	0.5 m	
タイル面の浮き (狭幅部)	12.2 m	1.0 m	ひび割れ (1.0mm超)	1.0 m	ひび割れ (0.2mm～1.0mm)	27.6 m	1.0 m	1.0 m	
欠損・ひび割れ部分・陶片浮き・汚損部分 (張替) (X1通りY3～Y5間外壁タイル張替除く)	25.6 m ²	0.6 m ²	ひび割れ (0.2mm～1.0mm)	1.0 m	ひび割れ (0.2mm未満)	4.2 m	1.0 m	0.5 m	
タイル下コンクリート躯体面のひび割れ (1.0mm超)	3.2 m	1.0 m	ひび割れ (0.2mm未満)	1.0 m	欠損・爆裂 100×100程度	1 箇所			
タイル下コンクリート躯体面のひび割れ (0.2mm～1.0mm)	27.1 m	1.4 m			欠損・爆裂 50×50程度	1 箇所			

■ 注記事項) 上表に示す劣化部の数量は、設計時の調査可能範囲における調査結果 (図示) をもとに算出した。

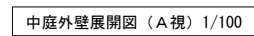
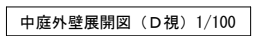
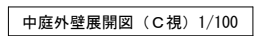
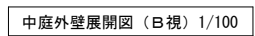
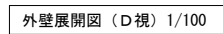
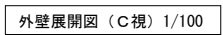
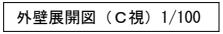
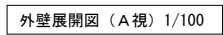


東立面図 1/100



北立面図 1/100

凡例	
打放し・モルタル面	
No.	浮き部
UNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上～1.0mm以下)
SNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm未満)
KNo.	欠損・爆裂 (100×100程度)
タイル張り面	
TNo.	浮き部
UTNo.	ひび割れ部 (幅1.0mm超)
CTNo.	ひび割れ部 (幅0.2mm以上～1.0mm以下)



備考

1級建築士 三宅晶信 第68278号

scale 1/100